

# 市川市生涯学習推進計画

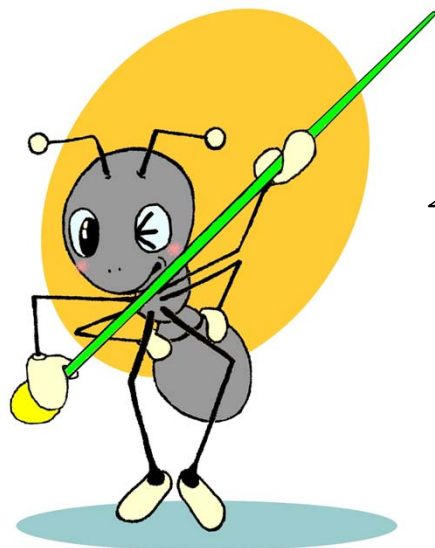
第四次 【平成27年度～平成31年度】



平成27年4月 市川市教育委員会



いつも新しい流れがある いちかわ



推進計画の  
ご案内を  
いたします！

生涯学習推進マスコット  
やるきアント君

# 目次 contents

第1章 第四次生涯学習推進計画策定の趣旨	1
第2章 生涯学習の現状と課題	4
1 e－モニターによる生涯学習に関するアンケート	4
2 生涯学習施設等の現状	7
第3章 生涯学習推進の方向	9
1 基本目標「生涯を通して学び続けられる学習環境の実現」	9
2 重点課題	9
3 基本的な考え方（6つの方向性）	9
4 推進の体系	11
5 主な取組と学習機会	13
第4章 生涯学習推進施策について	18
1 生涯学習部	19
（家庭教育学級、コミュニティサポート、学校支援実践講座、文化財、施設開放、体験学習、コミュニティクラブ、ピーイング、青少年健全育成、市民アカデミー、公民館主催講座、自然博物館、少年自然の家、図書館、考古博物館、歴史博物館など）	
2 学校教育部（学習支援クラブ、校内塾まなびくらぶ）	43
3 総務部（男女共同参画センター）	44
4 文化スポーツ部（文化・芸術関係） （東山魁夷記念館、文学ミュージアム、街回遊展など）	45
5 市民部 （ボランティア・NPO、消費者生活センター）	48
6 福祉部 （シルバー人材センター、シニアカレッジ、いきいきセンターなど）	52
7 こども政策部（すこやか応援隊、こども館など）	56
8 文化スポーツ部（スポーツ関係） （スポーツ指導者育成、体育協会、総合型地域スポーツクラブなど）	58

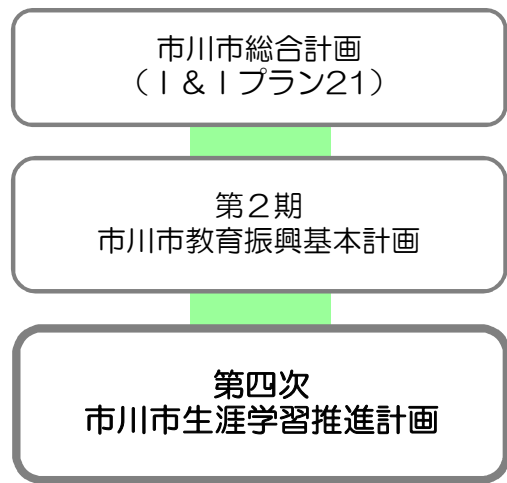
# 第1章 第四次生涯学習推進計画策定の趣旨

「市川市基本構想」（昭和61年）に示された「住みよい文化都市づくり」を生涯学習の面から推進していくため、「市川市生涯学習振興指針」が平成8年に策定されました。この指針に基づき、関連事業を総合的な施策として体系づけることにより、平成11年度「市川市生涯学習推進計画」、平成17年度「市川市生涯学習推進計画（改訂版）」、平成22年度に「第三次市川市生涯学習推進計画」を5カ年計画として策定、平成26年度は、その最終年度にあたります。

また、本計画は、市川市総合計画 第二次基本計画「I&Iプラン21」（平成23年度）の理念、基本目標、施策の方向を踏まえたものであり、学校教育に関する「学校教育3カ年計画」とともに、市川市教育振興基本計画の部門別計画として位置づけられるものとなっています。

平成25年6月14日に閣議決定された政府の「第2期教育振興基本計画」が示す現状認識と課題および、現行計画の評価に基づく施策の改善等を踏まえ、「自立、協働モデル」としての生涯学習社会の実現に向けた取り組みを具体的に示し、「創造モデル」としての生涯学習社会への基盤づくりを目指すことを意図して、「第四次市川市生涯学習推進計画」を策定することといたしました。

## 生涯学習推進計画の位置づけ



## 生涯学習推進計画の期間

年度	平成8 1996	11 1999	12 2000	13 2001	14 2002	15 2003	16 2004	17 2005	18 2006	19 2007	20 2008	21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	25 2013	26 2014	
計画期間	市川市生涯学習振興指針																	
	市川市生涯学習推進計画																	
	見直し						市川市生涯学習推進計画 改訂版											
	見直し												第三次 市川市生涯学習推進計画					
年度	平成27 2015	28 2016	29 2017	30 2018	31 2019	32 2020	33 2021	34 2022	35 2023	36 2024	37 2025	38 2026	39 2027	40 2028	41 2029	42 2030	43 2031	
計画期間	第四次 市川市生涯学習推進計画																	
	見直し																	

## 【市川市総合計画・第二編基本構想】

基本理念 『人間尊重・自然との共生・協働による創造』  
将来都市像 『ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ』  
基本目標1 『真の豊かさを感じるまち』  
施策の方向 『生きがいを見いだし、いきいきとした生涯学習社会をつくります』

### ■生涯学習分野を取り巻く現状と課題

情報通信技術の進展及び普及とともに、市民の価値観や嗜好、ライフスタイルが多様化しています。そのような中で、市民の学習活動も多様化、専門化してきており、高度な内容が求められています。

超高齢化社会に突入したといわれる社会情勢の中、子どもから大人まで、一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じて、自主的、主体的に活動できるように、多様な学習ニーズにも的確に応えられる体制づくりが必要です。

また、学んだ成果を地域社会に還元することができ、生きがいを持って社会・地域に貢献できるような体制づくりとさらなる指導者の育成に努め、層の厚い生涯学習環境を構築することで、地域の教育力の向上を図ることも大切です。

そのためには、市民の学習ニーズに合わせて社会教育施設を活用する必要があります。さらに、市内に残る貴重な学習資源を保護していく必要があります。

### ■生涯学習分野のねらい（中分類）

多様な学習ニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効に活用することで、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を図ります。

また、学びの成果を誰もが発揮できる活動の場を構築することで、生涯学習で得た知識や成果を積極的に地域社会に活かせる機会や仕組みづくりを進めていきます。

さらに、市内に残る貴重な自然・風土・歴史・文化的資産を保護し、次世代に引き継いで行くため、それらを学習資源として活用していきます。

## 【第2期市川市教育振興基本計画】

基本理念 『人をつなぐ 未来をつなぐ 市川の教育』  
基本的方向3 『市川の教育の姿』  
施策の方向3-4

『生涯を通して 学び続けられる 学習環境を実現する』

施策① 生涯学習機会の充実

施策② 図書館機能を活用した学習活動の充実

施策③ 博物館などの活用を通じた学習活動の推進

施策④ 公民館を活用した地域の学習拠点づくり

施策⑤ 文化財の保護と活用

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて、自主的、主体的に活動できるように、多様な学習ニーズにも的確に応えられる体制づくりが必要です。また、学んだ成果を地域社会に還元することができるように努め、地域の教育力の向上を図ることも大切です。

市川市では、多様な学習ニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効に活用し、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指します。

## 【計画改定の背景】

平成18年改正の教育基本法第3条において、生涯学習の理念が次のように明記されました。

『国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。』

また、平成20年2月に発表された中央教育審議会の答申『新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について』において、国民の学習活動を促進するために必要な視点として

- ア. 国民全体の人間力の向上
- イ. 「公共」の視点の重視
- ウ. 人の成長段階に即した多様な選択肢を提供する政策の重点化
- エ. 実社会のニーズを生かした多様な学習機会の提供
- オ. 情報通信技術の一層の活用

以上の5つの視点を取り上げられています。

さらに、平成25年6月に閣議決定された第2期教育振興基本計画では、「人口減少、経済成長力の低下、財政の悪化、雇用不安や格差拡大による社会の不安定化、社会保障の悪影響といった危機に対応するため、社会システム転換の必要性がある」として、

- 〔自立〕 一人一人が、多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことのできる生涯学習社会
- 〔協働〕 個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、共に支え合い、高め合い、社会に参画することのできる生涯学習社会
- 〔創造〕 これらを通じて更なる新たな価値を創造していくことのできる生涯学習社会

という、新たな社会モデル ～知識を基盤とした自立、協働、創造モデルとしての生涯学習社会の実現～ が示されました。



### 1 e－モニターによる生涯学習に関するアンケート

市川市e－モニター制度（通称：eモニ）とは、市川市が運営する登録制のアンケート制度で、モニターとして登録された方のパソコンや携帯電話に市からアンケートや情報を発信し、回答してもらうものです。

第三次推進計画の策定（平成21年度）に際してもこのアンケートを実施しており、前回との比較を行うため設問は変えていませんが、前回の回答で割合が大きかったものについては選択肢を増やし、より詳しい情報が得られるようにしました。また複数選択が可能な設問における各選択項目の割合については、合計は100%にならず、その設問に対する有効回答者数に対しての割合としています。

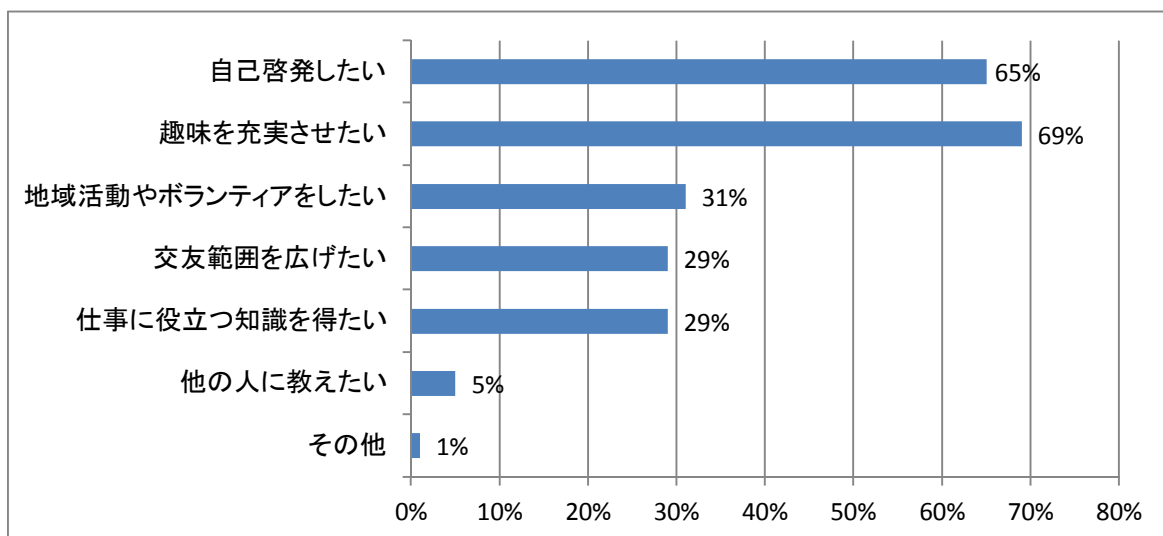
まず設問1・2では、アンケートの基本情報として年代・職業をお聞きしました。70代や仕事のない方が増えており、ほぼ前回登録時の方ががシフト（スライド）しています。世代の割合は、60代以降が34%（前回22%）働き盛りの30、40、50代が併せて64%（前回は72%）となっています。

設問3において「生涯学習について現在の考えに近いもの」を聞いたところ、「これから何かを学びたい」「今まで学んだ知識や技術を活かしたい」という方があわせて76%を占めている（前回の81%より若干落ちますが）ことから、前回同様に、生涯学習への関心の高さがうかがえます。

設問4において「生涯学習に関する情報をどのような方法で入手したいか」をお尋ねしたところ、市が発信する情報源以外に、民間のコミュニティ紙を活用していることがわかりました。また、ホームページやフェイスブック、メール等の新しいメディアを活用して情報を入手する割合も伸びています。

設問5の「どのような目的で学習講座や教室を選ぶか」についても、ほぼ前回同様ですが、「交友範囲を広げたい」が29%（前回25%）、「仕事に役立つ知識を得たい」も29%（前回22%）と伸びていることから、地域や仲間との繋がりをより強く求めると共に、仕事との関連性を重視する傾向があることがわかりました。

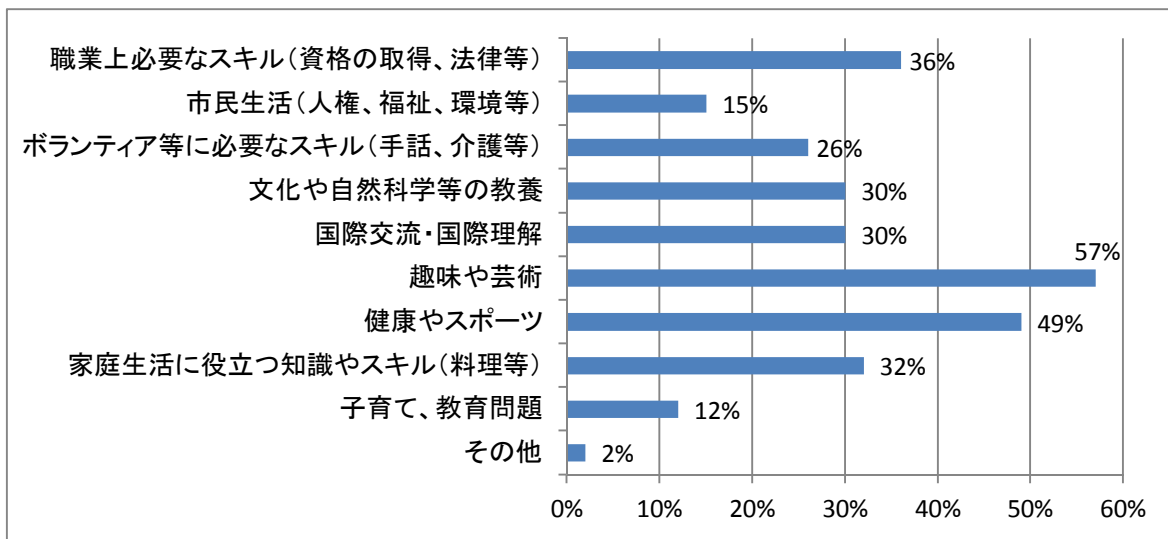
#### ■設問5「これから何かを学びたい」と答えた方への質問 「学習講座や教室をどのような目的で選びますか？」



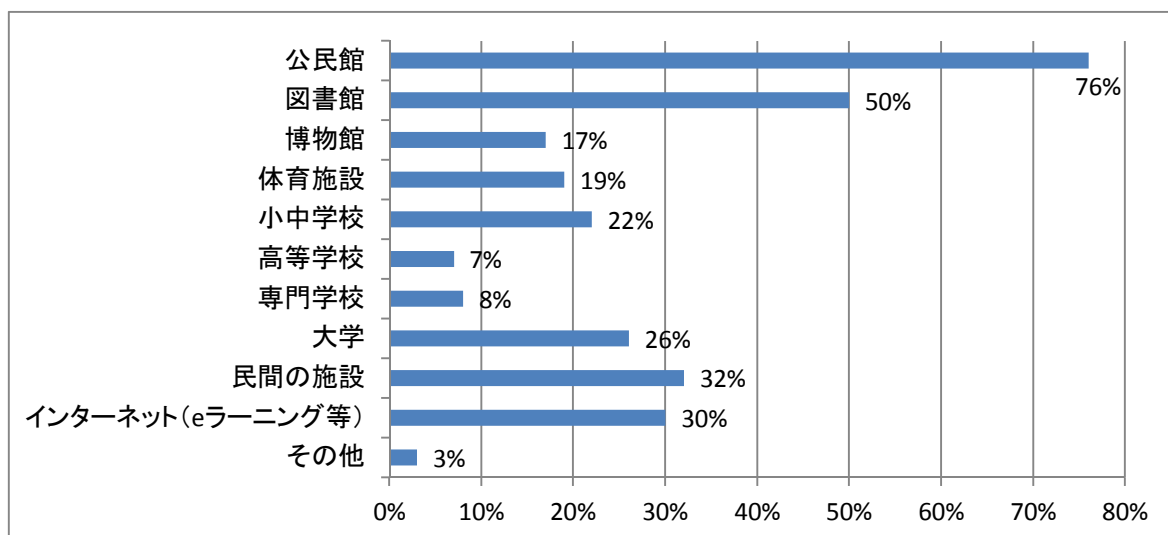


「これから何かを学びたい」と答えた方に対し、設問6で「学びたい内容」を、設問7では「学習講座等を受けたい場所」を伺いました。前回調査で、生涯学習と社会教育施設との関連が市民に定着していることがわかっておりますので、今回はさらに詳しく市の施設の選択肢を分けて調査したところ、1番は「公民館」、次に「図書館」、今回新たに選択肢に加えた「インターネットでの受講」も30%と高い数値が得られました。住んでいるところから近い施設、身近で気軽に学べる生涯学習を求めていることから、時間や距離等の制約で施設利用が困難な方に対しても、さまざまな方法で、学習機会の充実に努めていく必要があるだろうと考えています。

■設問6「これから何かを学びたい」と答えた方への質問  
「どのような内容を学びたいですか？」



■設問7「これから何かを学びたい」と答えた方への質問  
「学習講座をどの場所で受けたいですか？」





設問8と9では、「今まで学んだ知識や技術を活かしたい」と答えただけの方に対して、「どのように活かしたいか」という設問を行い、その内容を伺いました。

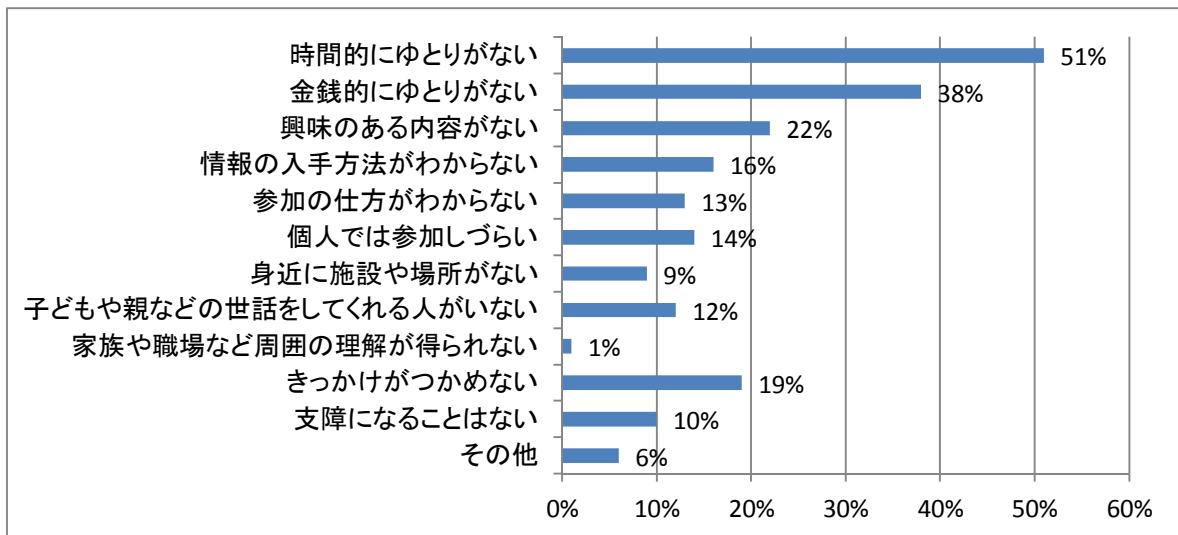
「地域活動やボランティア」が47%、「他の人への生涯学習等の指導」が31%であり、学んだ成果を活かすことができるような場を地域社会で提供することが求められていることが確認できました。また、新たに「健康維持」という選択肢を加えたところ29%の方が、「介護や福祉活動」に対しても14%の方が関心を持っていることも明らかになっています。

なお設問10では、設問3で「生涯学習について考えていない」と答えただけの方に、生涯学習活動等を始める上で何が支障となっているのかを伺いました。

これも前回同様に、「時間的にゆとりがない」が51%で半数を占め、次に「金銭的にゆとりがない」が38%、「興味のある内容がない」の22%が続きます。市が公民館等で提供する講座は、民間業者が提供する資格取得講座に対して安価で受講できるというメリットはあるものの、市民のニーズに即した講座運営を、今後さらに工夫する必要があるといえるでしょう。

「きっかけがつかめない」「参加の仕方がわからない」と併せて、今後の取り組みに活かす工夫が求められています。

■設問10「生涯学習について考えていない」と答えただけの方への質問  
「生涯学習活動等を始めるうえで支障となることは何ですか？」



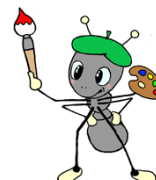
## 2 生涯学習施設等の現状

市内の生涯学習施設等をまとめました。

### (1) 公民館

公民館は、地域のコミュニケーションを深めたり、市民が幅広く教養を身につけるための社会教育施設として、市内16箇所に設置しています。これらは、サークル活動、学習会、研修会等に利用されています。

中央公民館	菅野公民館	鬼高公民館	信篤公民館
東部公民館	柏井公民館	大野公民館	若宮公民館
市川公民館	西部公民館	市川駅南公民館	曾谷公民館
行徳公民館	本行徳公民館	幸公民館	南行徳公民館



### (2) 図書館・図書室

図書館は、生涯学習センター内にある中央図書館を中心に、行徳図書館、南行徳図書館、信篤図書館、市川駅南口図書館、平田図書室があります。また、自動車図書館（1台）を運行し、図書館がない地域を補っています。

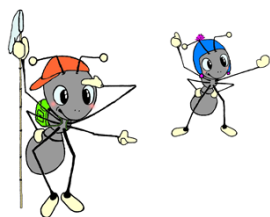
その他、図書を有する関連施設として、公民館図書室、市民図書室、学校図書室、文学ミュージアム資料室、男女共同参画センター（ウィズ）情報資料室があります。

図書館	中央図書館・行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館 市川駅南口図書館・平田図書室・自動車図書館（1台）
公民館図書室	曾谷公民館・市川公民館・東部公民館・大野公民館・西部公民館 本行徳公民館・市川駅南公民館
市民図書室	大柏小学校・稲越小学校・福栄小学校・塩焼小学校
学校図書室	各市立小・中学校
その他の図書室	文学ミュージアム資料室・男女共同参画センター（ウィズ）情報資料室

### (3) 博物館

市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法に基づいた登録博物館を3館設置しています。各博物館においては、館のテーマ（使命）に沿って資料収集、調査研究、展示、教育普及等の事業を行っています。最近は学校教育との連携にも力を入れています。

市川考古博物館	市内で出土した考古資料をもとに旧石器時代から平安時代までの市川の歴史を紹介しています。
市川歴史博物館	鎌倉時代から現代までの市川の歴史や民俗を紹介しています。
市川自然博物館	市川の自然をテーマに、市内で観察できる身近な自然を紹介しています。



#### (4) 文化施設

生涯学習の施設として、様々な文化施設や青少年・勤労者の施設等があります。

学習・交流	生涯学習センター（メディアパーク市川） （中央図書館・中央こども館・教育センター・少年センター ・文学ミュージアム）
	プラネタリウム（少年自然の家内）
	男女共同参画センターウィズ・八幡市民談話室・南行徳市民談話室
	宮田地域ふれあい館・市川地域ふれあい館・平田地域ふれあい館 八幡地域ふれあい館・本八幡地域ふれあい館・鬼越鬼高地域ふれあい館 大野地域ふれあい館・奉免地域ふれあい館 行徳地域ふれあい館・湊地域ふれあい館 富美浜地域ふれあい館・香取地域ふれあい館・新井地域ふれあい館
ホール・会議室	文化会館・市民会館・行徳文化ホールⅠ&Ⅱ ザタワーズイーストI-linkルーム
街かどミュージアム	清華園・東山魁夷記念館・芳澤ガーデンギャラリー・木内ギャラリー 郭沫若記念館・水木洋子邸・文学ミュージアム
青少年勤労者の施設	少年自然の家・勤労福祉センター・分館

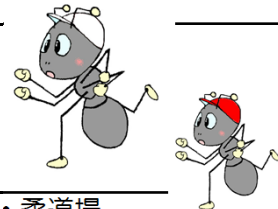
#### (5) 公園・レクリエーション施設

自然に親しみながら、健康増進や趣味の充実などに取り組める施設などがあります。

自然に親しむ	大町レクリエーションゾーン（動物園・市川自然博物館・観賞植物園・自然観察園・バラ園・少年自然の家等） 大柏川第一調節池緑地・行徳野鳥観察舎・万葉植物園・小塚山公園 いちかわ市民キャンプ場・市民農園
散歩・遊ぶ	里見公園・じゅん菜池緑地・南行徳公園・駅前公園・児童交通公園 大洲防災公園・広尾防災公園等

#### (6) スポーツ・健康施設

誰もがスポーツに親しめる施設が、市内各地にあります。



スポーツセンター	国府台市民体育館	第1体育館・第2体育館・柔道場 剣道場・トレーニング室	
		陸上競技場（日本陸連・第4種公認全天候型競技場）	
		野球場	
		テニスコート	
塩浜市民体育館	第1体育館・第2体育館・第1武道場・第2武道場・トレーニング室 第1会議室・第2会議室・テニスコート・相撲場		
信篤市民体育館	体育館・トレーニング室・ゲートボール場		
福栄スポーツ広場	野球場・テニスコート ゲートボール場	テニスコート	塩焼中央公園テニスコート 行徳中央公園テニスコート 菅野終末処理場テニスコート クリーンセンターテニスコート
中国分スポーツ広場	少年サッカー・フットサル		
青葉少年スポーツ広場	少年野球場・フットサル グラウンドゴルフ場		
江戸川河川敷グラウンド	野球場・少年野球場・サッカー場		
少年広場	妙典少年広場・柏井少年広場・北方小年広場・東国分少年広場 田尻第2少年広場・大野4丁目少年広場		
公園内施設	塩浜1号公園野球場・原木東浜公園ソフトボール場・原木公園ソフトボール場		
その他の広場等	北方多目的広場・塩浜多目的広場・妙典少年野球場 塩浜まちかど健康サロン		
プール	市民プール・本行徳プール・南行徳公園プール・駅前公園プール クリーンスパ市川		
学校施設開放事業	市内小中学校の体育館・校庭		

## 第3章 生涯学習推進の方向

### 1 基本目標

#### 生涯を通して学び続けられる学習環境の実現

### 2 重点課題

グローバル化、少子高齢化へと社会が急激に変化する中、我が国は今、知識基盤社会（新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会）への対応が求められています。

そのためには、市民一人ひとりが、生涯にわたって能動的に学び続け、その成果を地域コミュニティに生かしていくことのできる生涯学習社会の実現が必要であり、平成27年からの5年間の重点課題として、以下の2点を新たに設定することにしました。

#### ■多様化・高度化する学習ニーズへの対応

#### ■学び合い、支え合い、高め合う環境づくり

これは、第2期 教育振興基本計画に「成熟社会に適合した新たな社会モデル」として示された生涯学習社会のキーワード「自立」「協働」に相当する課題設定であり、新たな価値の「創造」につなげることができる環境づくりを目指そうというものとなっています。

### 3 基本的な考え方

#### ■「人をつなぐ」

#### ■「未来へつなぐ」

平成8年の生涯学習振興指針から導きだされた基本方針を引き継いでいますが、時代の変化や重点課題への対応を考慮し、第四次計画では、重点課題に対応する項目を新たに設定することとしました。

市川市教育振興基本計画の基本理念「人をつなぐ」「未来へつなぐ」を生涯学習推進のキーワードと捉え、

- ①地域コミュニティに関わる社会関係資本の連携協力を推進するとともに
- ②学んだ成果を地域社会に還元することができ、生きがいを持って社会・地域に貢献できるような体制づくり（家庭・学校・地域活動の支援）に取り組む

ことで、共に支え合い、高め合い、社会に参画することのできる生涯学習社会づくりを進めていきたいと考えています。

グローバル化、少子高齢化、知識基盤社会への対応を図る  
生涯学習推進「6つの方向性」

(1) 市民の学習ニーズに対応した  
生涯学習の環境づくり

- 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
- ライフステージに応じた生涯学習機会の充実
- 地域支援活動を目指す人材の育成

(2) ネットワークの充実

- 行政内の情報交換、事業面での連携強化
- 高等教育機関・NPO・民間企業等を含めたネットワークの連携強化
- 育成した地域支援人材とコーディネーター、社会貢献活動を計画する団体等との連携強化

(3) 自然・風土・歴史・文化的資産の保護と活用

- 市内に残る貴重な自然・風土・歴史・文化的資産を保護し、次世代に引き継いで行くため、学習資源としての活用を推進

(4) 家庭教育支援

- 保護者の学びを支援する体制の充実
- 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進

(5) 学校教育支援

- 家庭・学校・地域の連携強化
- 児童生徒の社会体験・生活体験の充実

(6) 地域活動支援

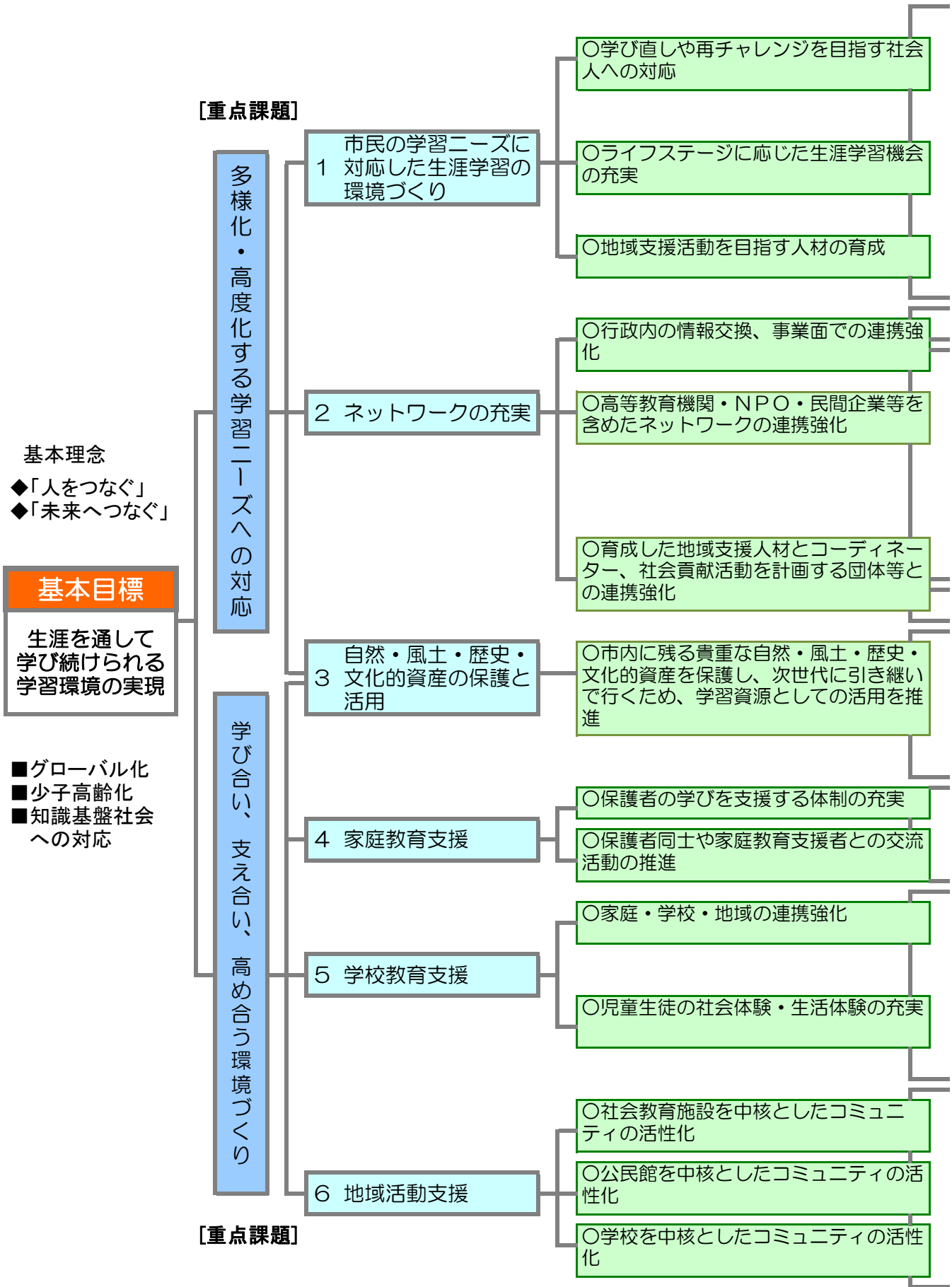
- 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
- 公民館を中核としたコミュニティの活性化
- 学校を中核としたコミュニティの活性化

多様化・高度化する  
学習ニーズへの対応

高め合う環境づくり  
学び合い、支え合い

# 4 推進の体系

## 施策の方向





主な取り組み/学習機会

1-4学校支援実践講座  
1-8 学校施設開放  
1-13子ども会育成会  
1-14青少年指導者育成  
1-19市民アカデミー  
1-20公民館主催講座  
1-22観察会・散策会  
1-24 教育普及  
1-25夏休みイベント  
1-26自然講座  
1-27野草の名札付け・環境整備  
1-28.40.46広報活動  
1-32レファレンスサービス  
1-39.45縄文体験フェスティバル

3-1男女共同参画センター講座  
3-2人権啓発講演会  
5-1.3.4各種関係団体の育成・支援  
5-2情報提供事業  
5-5ボランティア活動等啓発  
5-7ボランティア・NPO活動の拡充  
5-8消費生活センター相談・啓発  
8-1スポーツ指導者育成  
8-4健康スポーツ教室  
8-6スポーツ推進負担金  
8-8大会等派遣参加費用補助

関連する取り組み/学習機会

1-1家庭教育学級 1-3コミュニティサポート  
1-29.30.31自然の家 1-33子どもの読書  
1-34地域行政資料 1-35.41展示事業  
1-36.37.38.42.43.44教育普及  
4-2文学ミュージアム  
6-1高齢者健康相談 6-2高齢者クラブ  
6-3シルバー人材センター補助  
6-4シニアカレッジ教養講座  
6-5.6いきいきセンター  
6-7.8グラウンド・ゴルフ・ゲートボール大会  
6-9長寿ふれあいフェスティバル  
6-10明青展 6-11いきいき健康教室  
8-2スポーツ推進委員活動  
8-3市民スポーツ振興 8-7体育協会補助

※原則として本表内の行政関連全事業が対象

1-3コミュニティサポート 1-28自然講座  
1-12青少年相談員連絡協議会  
1-19市民アカデミー  
1-28野草の名札付け 1-29.38.44広報活動  
1-34.35.36.40.41.42教育普及  
1-37.43縄文体験フェスティバル  
5-2情報提供  
5-3.4各種関係団体の育成・支援  
5-7ボランティア・NPO活動の拡充  
7-3こども発達相談室  
8-2スポーツ推進委員活動 8-7体育協会補助

1-1家庭教育学級  
1-4学校支援実践講座  
1-13子ども会育成会  
1-14青少年指導者育成  
1-20公民館主催講座  
1-32レファレンスサービス  
1-33子どもの読書  
1-34地域行政資料  
1-35.41展示事業

3-1男女共同参画センター講座  
3-2人権啓発講演会  
5-1各種関係団体  
5-6ボランティア・NPO活動の拡充  
5-8消費生活センター相談及び啓発  
7-1すこやか応援隊  
7-2こども館  
8-1スポーツ指導者育成  
8-6スポーツ推進負担金  
8-9総合型地域スポーツクラブ

※原則として本表内の人材育成事業と関係団体および行政関連全事業が対象

1-5 史跡公有化 1-7 史跡整備保存  
1-6 指定文化財維持管理  
1-21常設展・企画展 1-22観察会・散策会  
1-25夏休みイベント 1-26自然講座  
1-29少年自然の家 1-31プラネタリウム  
1-27野草の名札付け・環境整備  
1-28.40.46広報活動

1-34地域行政資料 1-35.41展示事業  
1-23.24.36.37.38.42.43.44教育普及  
1-39.45縄文体験フェスティバル  
4-1東山魁夷記念館 4-2文学ミュージアム  
4-3市川の文化人展・収蔵作品展  
4-4市史編さん 4-5街回遊展  
4-7文化の街かど回遊マップ

1-32レファレンスサービス  
4-6芸術祭・文化祭

1-1家庭教育学級 1-18少年相談  
3-1男女共同参画センター講座  
3-2人権啓発講演会  
7-2こども館

1-3コミュニティサポート  
1-9 体験学習  
1-29.30少年自然の家  
1-33子どもの読書

7-1すこやか応援隊  
7-3こども発達相談室

1-2社会教育活動助成  
1-3コミュニティサポート  
1-4学校支援実践講座  
1-9 体験学習  
1-16 少年健全育成  
1-17環境浄化啓発  
1-20 公民館主催講座  
1-21常設展・企画展 1-23 教育普及  
1-29少年自然の家

1-31プラネタリウム  
1-33子どもの読書 1-35展示事業  
2-1学習支援推進  
2-2校内塾・まなびくらぶ  
5-2情報提供事業  
5-5ボランティア活動等啓発事業  
7-4中高年保育ボランティア  
8-5スポーツ推進団体補助  
8-8大会等派遣参加費用補助

1-1家庭教育学級 1-11子どもの居場所づくり  
1-15少年補導員 1-18少年相談  
1-25夏休みイベント 1-30自然の家  
1-32レファレンスサービス  
3-2人権啓発講演会  
7-3こども発達相談室 7-2こども館  
8-1スポーツ指導者育成 8-2推進委員活動  
8-3市民スポーツ振興 8-7体育協会補助  
8-9総合型地域スポーツクラブ

1-3コミュニティサポート  
1-10 コミュニティクラブ  
1-11 子どもの居場所づくり  
1-15少年補導員 1-20公民館主催講座  
1-35.41展示事業  
1-36.37.38.42.43.44教育普及  
1-39.45縄文体験フェスティバル  
1-40.46広報活動 3-2人権啓発講演会  
8-3スポーツ振興

1-1家庭教育学級 1-2社会教育活動助成  
1-4学校支援実践講座  
1-8 学校施設開放  
1-16少年健全育成  
1-19市民アカデミー  
1-24 教育普及  
2-1学習支援推進  
2-2まなびくらぶ  
3-1男女共同参画センター講座

4-2文学ミュージアム管理運営  
6-1高齢者健康相談  
6-4シニアカレッジ教養講座  
6-5.6いきいきセンター  
8-2スポーツ推進委員  
8-4健康スポーツ教室  
8-5スポーツ推進団体補助  
8-6推進負担金  
8-9総合型地域スポーツクラブ



## 5 主な取組と学習機会

■同じ「推進の方向」に重点を置く事業(P19以降の資料において、施策の方向と関連性が強いものとして◎がつけた事業)をまとめています。このデータから、施策の関連性を明確にするとともに、今後の連携の可能性を考えることができます。

### (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり

○学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		ページ
[関連性の高い事業]		
1-32 レファレンスサービス	(中央図書館)	34
3-1 男女共同参画センター講座事業	(男女共同参画課)	44
5-7 ボランティア・NPO活動の拡充 [協働事業提案制度]	(ボランティア・NPO課)	51
8-8 スポーツ大会等派遣参加費用補助金	(スポーツ課)	60
8-9 総合型地域スポーツクラブ事業	(スポーツ課)	61
○ライフステージに応じた生涯学習機会の充実		ページ
[関連性の高い事業]		
1-8 学校施設開放事業	(社会教育課)	22
1-22 教育普及事業 [観察会・散策会等]	(自然博物館)	30
1-24 教育普及事業 [講師派遣]	(自然博物館)	30
1-25 教育普及事業 [夏休みイベント]	(自然博物館)	31
1-26 教育普及事業 [自然講座等]	(自然博物館)	31
1-27 ボランティア活動 [野草の名札付け・環境整備]	(自然博物館)	31
1-28 広報活動 [情報発信事業]	(自然博物館)	32
1-32 レファレンスサービス	(中央図書館)	34
3-1 男女共同参画センター講座事業	(男女共同参画課)	44
3-2 人権啓発講演会事業	(男女共同参画課)	44
5-3 各種関係団体の育成・支援 [ボランティア・NPO活動センター]	(ボランティア・NPO課)	49
5-4 各種関係団体の育成・支援 [研修会、講演会等開催]	(ボランティア・NPO課)	50
5-5 ボランティア活動等啓発事業 [夏休み体験ボランティア]	(ボランティア・NPO課)	50
5-7 ボランティア・NPO活動の拡充 [協働事業提案制度]	(ボランティア・NPO課)	51
5-8 消費生活センター相談及び啓発事業	(総合市民相談課)	52
8-4 健康スポーツ教室事業	(スポーツ課)	59
8-6 スポーツ推進負担金	(スポーツ課)	60

## ○地域支援活動を目指す人材の育成

ページ

[関連性の高い事業]

1-4 学校支援実践講座事業	(社会教育課)	21
1-13 青少年健全育成事業補助金 [子ども会育成会連絡協議会]	(青少年育成課)	25
1-14 青少年指導者育成事業	(青少年育成課)	25
1-19 いちかわ市民アカデミー講座事業	(社会教育課)	28
1-20 公民館主催講座活動事業	(社会教育課)	29
1-39 教育普及事業 [縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ]	(考古博物館)	38
1-40 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供]	(考古博物館)	39
1-45 教育普及事業 [縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ]	(歴史博物館)	41
1-46 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供]	(歴史博物館)	42
5-1 各種関係団体の育成・支援 [市民活動団体支援制度]	(ボランティア・NPO課)	48
5-2 情報提供事業	(ボランティア・NPO課)	49
5-3 各種関係団体の育成・支援 [ボランティア・NPO活動センター]	(ボランティア・NPO課)	49
5-4 各種関係団体の育成・支援 [研修会、講習会等開催]	(ボランティア・NPO課)	50
5-5 ボランティア活動等啓発事業 [夏休み体験ボランティア]	(ボランティア・NPO課)	50
5-7 ボランティア・NPO活動の拡充 [協働事業提案制度]	(ボランティア・NPO課)	51
8-1 スポーツ指導者育成事業	(スポーツ課)	58

## (2) ネットワークの充実

### ○高等教育機関・NPO・民間企業等を含めたネットワークの連携強化

ページ

[関連性の高い事業]

1-19 いちかわ市民アカデミー講座事業	(社会教育課)	28
5-7 ボランティア・NPO活動の拡充 [協働事業提案制度]	(ボランティア・NPO課)	51

### ○育成した地域支援人材とコーディネーター、 社会貢献活動を計画する団体等との連携強化

ページ

[関連性の高い事業]

1-3 コミュニティサポート事業	(社会教育課)	20
1-12 青少年健全育成事業補助金 [青少年相談員連絡協議会]	(青少年育成課)	24
5-2 情報提供事業	(ボランティア・NPO課)	49
5-3 各種関係団体の育成・支援 [ボランティア・NPO活動センター]	(ボランティア・NPO課)	49
5-4 各種関係団体の育成・支援 [研修会、講習会等開催]	(ボランティア・NPO課)	50
5-7 ボランティア・NPO活動の拡充 [協働事業提案制度]	(ボランティア・NPO課)	51
8-7 体育協会補助金	(スポーツ課)	60

### (3) 自然・風土・歴史・文化的資産の保護と活用

○市内に残る貴重な自然・風土・歴史・文化的資産を保護し、次世代に引き継いで行くため、学習資源としての活用を推進

ページ

[関連性の高い事業]

1-5 史跡公有化事業	(考古博物館)	21
1-6 指定文化財維持管理事業	(考古博物館)	22
1-7 史跡整備保存事業	(考古博物館)	22
1-21 展示事業 [常設展・企画展等]	(自然博物館)	29
1-22 教育普及事業 [観察会・散策会等]	(自然博物館)	30
1-23 教育普及事業 [学校支援]	(自然博物館)	30
1-24 教育普及事業 [講師派遣]	(自然博物館)	30
1-25 教育普及事業 [夏休みイベント]	(自然博物館)	31
1-26 教育普及事業 [自然講座等]	(自然博物館)	31
1-27 ボランティア活動 [野草の名札付け・環境整備]	(自然博物館)	31
1-28 広報活動 [情報発信事業]	(自然博物館)	32
1-29 少年自然の家運営事業	(少年自然の家)	32
1-30 少年自然の家活動事業	(少年自然の家)	33
1-31 少年自然の家プラネタリウム運営事業	(少年自然の家)	33
1-34 地域行政資料の収集・保存と活用	(中央図書館)	36
1-35 展示事業 [常設展・企画展・巡回展等]	(考古博物館)	36
1-36 教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]	(考古博物館)	37
1-37 教育普及事業 [縄文体験学習及び関連研修会・ボランティア指導養成講座等]	(考古博物館)	37
1-38 教育普及事業 [歴史カレッジ]	(考古博物館)	38
1-39 教育普及事業 [縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ]	(考古博物館)	38
1-40 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供]	(考古博物館)	39
1-41 展示事業 [常設展・企画展等]	(歴史博物館)	39
1-42 教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]	(歴史博物館)	40
1-43 教育普及事業 [縄文体験学習及び関連研修会・ボランティア指導養成講座等]	(歴史博物館)	40
1-44 教育普及事業 [歴史カレッジ]	(歴史博物館)	41
1-45 教育普及事業 [縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ]	(歴史博物館)	41
1-46 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供]	(歴史博物館)	42
4-1 東山魁夷記念館管理運営事業	(東山魁夷記念館)	45
4-2 文学ミュージアム管理運営事業	(文化振興課)	45
4-3 市川の文化人展等事業	(文化振興課)	46
4-4 市史編さん事業	(文化振興課)	46
4-5 街回遊展事業	(文化振興課)	47
4-7 文化の街かど回遊マップ発行事業	(文化振興課)	47

## (4) 家庭教育支援

### ○保護者の学びを支援する体制の充実

[関連性の高い事業]

1-1 家庭教育学級運営事業	(社会教育課)	19
1-18 少年相談事業	(少年センター)	27
3-1 男女共同参画センター講座事業	(男女共同参画課)	44
3-2 人権啓発講演会事業	(男女共同参画課)	44
7-2 こども館運営事業	(子育て支援課)	56

### ○保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進

[関連性の高い事業]

1-1 家庭教育学級運営事業	(社会教育課)	19
----------------	---------	----

## (5) 学校教育支援

### ○家庭・学校・地域の連携強化

[関連性の高い事業]

1-2 社会教育活動助成補助金	(社会教育課)	19
1-3 コミュニティサポート事業	(社会教育課)	20
1-4 学校支援実践講座事業	(社会教育課)	21
1-16 少年健全育成補助事業	(少年センター)	26
1-20 公民館主催講座活動事業	(社会教育課)	29
1-33 子どもの読書活動推進事業	(中央図書館)	35
2-1 学習支援推進事業 [学習支援クラブ]	(指導課)	43
2-2 校内塾・まなびくらぶ事業	(指導課)	43
7-3 こども発達相談室事業	(発達支援課)	57
7-4 中高年保育ボランティア	(保育施設課)	57

### ○児童生徒の社会体験・生活体験の充実

[関連性の高い事業]

1-4 学校支援実践講座事業	(社会教育課)	21
1-9 体験学習事業	(青少年育成課)	23
1-17 環境浄化啓発活動事業	(少年センター)	27
1-21 展示事業 [常設展・企画展等]	(自然博物館)	29
1-23 教育普及事業 [学校支援]	(自然博物館)	30
1-29 少年自然の家運営事業	(少年自然の家)	32
1-31 少年自然の家プラネタリウム運営事業	(少年自然の家)	33
5-2 情報提供事業	(ボランティア・NPO課)	49
5-5 ボランティア活動等啓発事業 [夏休み体験ボランティア]	(ボランティア・NPO課)	50
8-5 スポーツ推進団体補助金	(スポーツ課)	59
8-8 スポーツ大会等派遣参加費用補助金	(スポーツ課)	60

## (6) 地域活動支援

### ○社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化

[関連性の高い事業]

	ページ
1-35 展示事業 [常設展・企画展・巡回展等]	(考古博物館) 36
1-36 教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]	(考古博物館) 37
1-37 教育普及事業 [縄文体験学習及び関連研修会・ボランティア指導養成講座等]	(考古博物館) 37
1-38 教育普及事業 [歴史カレッジ]	(考古博物館) 38
1-39 教育普及事業 [縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ]	(考古博物館) 38
1-40 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供]	(考古博物館) 39
1-41 展示事業 [常設展・企画展等]	(歴史博物館) 39
1-42 教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]	(歴史博物館) 40
1-43 教育普及事業 [縄文体験学習及び関連研修会・ボランティア指導養成講座等]	(歴史博物館) 40
1-44 教育普及事業 [歴史カレッジ]	(歴史博物館) 41
1-45 教育普及事業 [縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ]	(歴史博物館) 41
1-46 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供]	(歴史博物館) 42
3-2 人権啓発講演会事業	(男女共同参画課) 44
8-3 市民スポーツ振興事業	(スポーツ課) 59

### ○公民館を中核としたコミュニティの活性化

[関連性の高い事業]

	ページ
1-20 公民館主催講座活動事業	(社会教育課) 29

### ○学校を中核としたコミュニティの活性化

[関連性の高い事業]

	ページ
1-3 コミュニティサポート事業	(社会教育課) 20
1-10 コミュニティクラブ事業	(青少年育成課) 23
1-11 子どもの居場所づくり事業 [ビーイング]	(青少年育成課) 24
1-15 少年補導員活動事業	(少年センター) 26

## 第4章 生涯学習推進施策について

ここでは、主な事業について、事業概要・生涯学習推進6つの方向性との関連・推進目標および成果指標について説明することにします。

### ★記載事項に関する説明

<p>(部署を番号で示しています)－(部署ごとの通し番号)</p> <p>1. 教育委員会生涯学習部   2. 教育委員会学校教育部          3. 総務部   4. 文化スポーツ部(文化・芸術関係)   5. 市民部          6. 福祉部   7. こども政策部   8. 文化スポーツ部(スポーツ関係)</p>	<p>施策の方向と関連性が強いものには◎、あるていどの関連があると判断されるものには○をつけました。</p>
--	--

事業名	1-1. 0000			(〇〇課)
事業概要				
(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり				◎
	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	ライフステージに応じた生涯学習の充実	地域支援活動を目指す人材の育成	◎
(2) ネットワークの充実				◎
	行政内の情報交換、事業面での連携	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	◎
				◎
(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用				◎
(4) 家庭教育支援				◎
	保護者の学びを支援する体制の充実	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		◎
(5) 学校教育支援				◎
	家庭、学校、地域の連携強化	児童生徒の社会・生活体験活動の充実		◎
(6) 地域活動支援				◎
	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	公民館を中核としたコミュニティの活性化	学校を中核としたコミュニティの活性化	◎
				◎
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	※今後の5年間に、各事業が目指す目標を記載しています。		(31年4月検証)	
成果指標	※事業の進捗状況を判断するもの			
実績・目標値	※25年度の実績		※30年度の目標	※30年度達成値(31年4月確認)

ここに示される事業は、必ずしも拡大を目指すものばかりではなく、現状の継続が求められているものもあります。また、今後、他の事業との統合が図られる可能性のあるものや、一定の事業目的を達成し、廃止されるものもあるかもしれません。そうしたことを勘案し、5年後の数値目標等の記載を省略した書式で説明されている事業もあります。



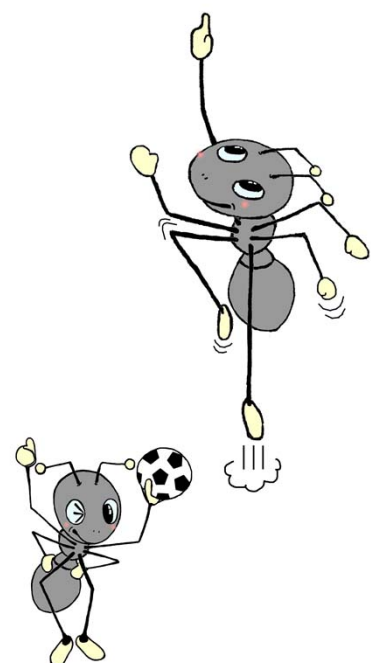
# 1 教育委員会 生涯学習部

事業名		1-1 家庭教育学級運営事業		(社会教育課)		
事業概要		子育てに関する諸問題について1年間計画的に学習し、より良い親子関係づくりの実践につなげようとする取り組み。学級生による講座の自主企画運営や家庭教育指導員を講師とした指導員派遣講座、学級の枠を超えて個人で参加可能な共通講座など、様々な学習機会を提供する。市内小・中、特別支援学校および公立幼稚園で62学級が開設されている。				
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○	ライフステージに応じた生涯学習の充実	
			地域支援活動を目指す人材の育成			
		○	行政内の情報交換、事業面での連携	○	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
	○	(2) ネットワークの充実	○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
		(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
◎	(4) 家庭教育支援	◎	保護者の学びを支援する体制の充実			
		◎	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進			
○	(5) 学校教育支援	○	家庭、学校、地域の連携強化			
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実			
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化			
			公民館を中核としたコミュニティの活性化			
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化			
年度	26年度		30年度			
事業推進目標	・25年度に行った方針変更（「指導員派遣講座」「共通講座」の導入）の検証を行うと共に、「グローバル化」「少子高齢化」「知識基盤社会への対応」に関する「共通講座」の設定と「関連団体や行政内の各事業との連携」の拡大に取り組む。		※31年4月検証			
成果指標	家庭教育学級が「子育て」や「親子のコミュニケーションづくり」に役立ったと答える学級生の割合(これ以外にも年間参加者数延べ10,000人を維持することを目標とする)					
実績・目標値	25年度実績 89%		30年度目標 95%	30年度達成数 ※31年4月確認		

事業名		1-2 社会教育活動助成補助金		(社会教育課)
事業概要		市川市PTA連絡協議会が実施する「研修事業」「広報活動」「その他社会教育及び家庭教育の振興に資するために必要な事業」に対し、補助金を交付する。		
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
			ライフステージに応じた生涯学習の充実	
			地域支援活動を目指す人材の育成	
○	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携	
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用	
◎	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
◎	(5) 学校教育支援	◎	家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
			公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	



事業名		1-3 コミュニティサポート事業		(社会教育課)		
事業概要		子どもの健全育成活動を通し、地域コミュニティの活性化と生涯学習社会づくりを推進する。学校支援や地域活動に取り組む方々による情報・意見交換の場を提供すること、学校支援コーディネーターを委嘱することで、学校と地域の連携協力の推進に成果をあげてきた。				
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応			
			ライフステージに応じた生涯学習の充実			
		○	地域支援活動を目指す人材の育成			
	◎	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		
				高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
			◎	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用			
○	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実			
			○	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
◎	(5) 学校教育支援	◎	家庭、学校、地域の連携強化			
			○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
◎	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化			
			公民館を中核としたコミュニティの活性化			
		◎	学校を中核としたコミュニティの活性化			
年度		26年度		30年度		
事業推進目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援者の積極的な参画を促し「家庭、学校、地域および行政が行う各事業の連携を推進」すると共に「児童生徒の安全と社会体験、生活体験の充実を地域から支援する体制の強化」と「学校を核とした地域振興、コミュニティの活性化」に取り組む。</li> <li>・学校支援コーディネーターの活動（学校支援ボランティア活動の活性化）を定着させていく。</li> </ul>		※31年4月検証		
成果指標		学校支援コーディネーターが学校に派遣したボランティアの人数				
実績・目標値		25年度実績 280人		30年度目標 840人	30年度達成数 ※31年4月確認	



事業名		1-4 学校支援実践講座事業		(社会教育課)	
事業概要		市民を対象として、学校における「いじめ問題」をテーマとした社会人権講座を行う。また受講者は、小・中学生との交流会に参加し、この問題について意見交換を行うことで、学校に対する地域支援者としての役割を担う。			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実		
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成		
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携		
		○	高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(4) 家庭教育支援		各資産の保護と学習資源としての活用		
			保護者の学びを支援する体制の充実		
	(5) 学校教育支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
◎		◎	家庭、学校、地域の連携強化		
	(6) 地域活動支援	◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
○			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会運営（「ネットいじめ」を題材とした学習プログラム開発等）について、千葉大学教育学部、市教育委員会学校教育部、教育センター（若年層教員研修）との連携を推進する。</li> <li>地域支援者の募集と育成について、高齢者の参加を積極的に働きかけると共に本計画関連団体や各事業と幅広く連携を図る。</li> <li>「学校いじめ防止基本計画」における未然防止の具体的方策として位置づけ、継続的に取り組む学校を増やしていく。</li> </ul>		※31年4月検証		
成果指標	小・中学校交流会の年間実施学級数				
実績・目標値	25年度実績 14学級		30年度目標 50学級	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		1-5 史跡公有化事業		(考古博物館)	
事業概要		貴重な歴史的遺産を後世に残すよう保護するため、史跡の公有化を推進し、環境整備を実施する。			
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実		
			地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(4) 家庭教育支援		各資産の保護と学習資源としての活用		
			保護者の学びを支援する体制の充実		
	(5) 学校教育支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
		◎	家庭、学校、地域の連携強化		
	(6) 地域活動支援		児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	史跡の保存・整備を実施するため、用地の公有化を図る。		※31年4月検証		
成果指標	公有化率				
実績・目標値	25年度実績 32,159.92㎡公有化 (65.55%)		30年度目標 37,395.29㎡ (76.22%)	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		1-6 指定文化財維持管理事業 (考古博物館)	
事業概要		市内に残る貴重な文化財を未来の子どもに継承するため、自然・風土・歴史・文化的遺産の保護の充実を図る。	
(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
(2) ネットワークの充実			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎ (3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
(4) 家庭教育支援			保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
(5) 学校教育支援			家庭、学校、地域の連携強化
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実
(6) 地域活動支援			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		1-7 史跡整備保存事業 (考古博物館)	
事業概要		市内に残る貴重な文化財を未来の子どもに継承するため、自然・風土・歴史・文化的遺産の保護の充実を図る。	
(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
(2) ネットワークの充実			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎ (3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
(4) 家庭教育支援			保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
(5) 学校教育支援			家庭、学校、地域の連携強化
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実
(6) 地域活動支援			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		1-8 学校施設開放事業 (社会教育課)	
事業概要		地域住民や子どもたちの活動の場として、学校のプールや校庭、教室などを開放し、地域の生涯学習活動や子どもの健全育成活動、異世代間交流などを推進する。	
◎ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
(2) ネットワークの充実			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用			各資産の保護と学習資源としての活用
(4) 家庭教育支援			保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
(5) 学校教育支援			家庭、学校、地域の連携強化
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○ (6) 地域活動支援			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		1-9 体験学習事業 (青少年育成課)	
事業概要		稲作及び農業体験を通して、自然や異年齢との共同作業による人とのふれあいや勤労と収穫の喜びを体験することにより、親子の情愛を深め、心豊かな子どもたちを育てていく。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		地域支援活動を目指す人材の育成	
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	
		高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
○	(4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	
		○ 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
◎	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化	
		◎ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名		1-10 コミュニティクラブ事業 (青少年育成課)	
事業概要		人とのつながりを大切に、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を図るため、16中学校区に設置された「コミュニティクラブ」において、「遊び」を通じた異年齢交流・世代間交流を図る事業を実施する。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		地域支援活動を目指す人材の育成	
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	
		高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実	
		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化	
		児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色やボランティアの専門性を生かした体験活動や人との交流を通して、子どもたちの「生きる力」を養う。</li> <li>複数のブロックで人材を共有できるように、ブロック同士の交流を深める。</li> </ul>		※31年4月検証
成果指標	コミュニティクラブ年間参加人数		
実績・目標値	25年度実績	37,937人	30年度目標 42,000人 30年度達成数 ※31年4月確認



事業名		1-11 子どもの居場所づくり事業 [ピーニング]		(青少年育成課)	
事業概要		児童生徒の健全育成を図るため、学校の施設等を活用し、放課後等における子どもの居場所をつくり、地域の人々とのふれあいや異年齢間の交流による豊かな生活体験の機会を提供する。			
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
○	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 ○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
◎	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 ◎ 学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度		26年度		30年度	
事業推進目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々とのふれあいや異年齢間交流による豊かな生活体験を通して、子どもたちの生きる力、創造性豊かな心、共感する心を養い、健全育成を図る。</li> <li>・遊びについて、スタッフが子どもたちの自主性を大切にサポート役となるとともに、様々な特技や技術を生かし、色々な遊びを提供する。</li> <li>・運営について、地域の諸団体、学校、PTA等が一体となって、地域で子どもを育てていく意識を高める。</li> </ul>		※31年4月検証	
成果指標		利用者数			
実績・目標値		25年度実績 40,626人		30年度目標 50,000人	30年度達成数 ※31年4月確認

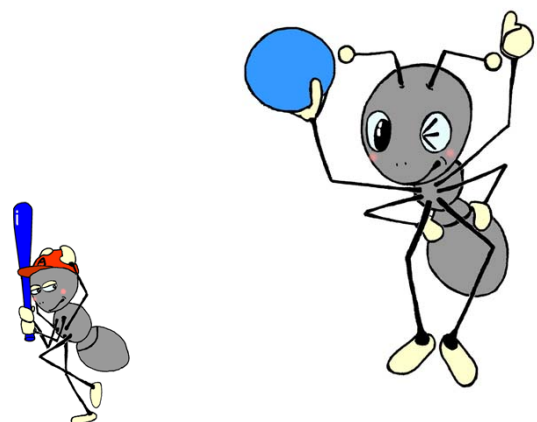
事業名		1-12 青少年健全育成事業補助金		(青少年育成課)	
事業概要		[青少年相談員連絡協議会] 市川市青少年相談員は、千葉県青少年相談員設置要綱に基づき、千葉県知事並びに市川市教育委員会から委嘱され、地域の青少年健全育成推進の担い手として、スポーツ、野外活動等を通じた体験学習等の促進、また、他の青少年団体と協力し、地域活動の活性化の促進を図るなど、幅広い青少年健全育成活動を行っています。			
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成		
◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 ◎ 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化		

事業名	1-13 青少年健全育成事業補助金 [子ども会育成会連絡協議会]			(青少年育成課)	
事業概要	スポーツや野外活動等を通じて、青少年の心身の発達を促進するとともに、青少年の健全な育成を図るため、市川市子ども会育成会連絡協議会に対し市川市青少年育成事業補助金を交付する。				
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実	◎	地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携	○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化		

事業名	1-14 青少年指導者育成事業			(青少年育成課)	
事業概要	地域における子どもたちの健全育成を図るために、小学校5年生から社会人に至るまで、ステップバイステップで階段を上がるように4段階の講習会を実施。子ども会の活性化、地域リーダーの育成を図るため、青少年の地域活動やレクリエーションに関する理論と実技の習得を目的とする。				
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実	◎	地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携	○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育成人材（主に中学生～大学生）の活動の場として、青少年ボランティア団体（市川市ジュニアリーダーサークル、市川市リーダーサークル）との連携を強化する。</li> <li>・ 講習会の講師について、野外活動やレクリエーション技術の指導ができる地域人材及び外部（市外）講師の発掘に力を入れる。</li> </ul>		※31年4月検証		
成果指標	参加して「よかった・まあまあよかった」と回答した受講者の割合				
実績・目標値	25年度実績	95.3%	30年度目標	100%	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名	1-15 少年補導員活動事業 (少年センター)	
事業概要	街頭補導を通して、青少年の非行防止活動と有害環境の浄化活動を行う。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 <input type="checkbox"/> 地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	<input type="checkbox"/> 行政内の情報交換、事業面での連携 <input type="checkbox"/> 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 <input type="checkbox"/> 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	<input type="checkbox"/> 各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	<input type="checkbox"/> 保護者の学びを支援する体制の充実 <input type="checkbox"/> 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援	<input type="checkbox"/> 家庭、学校、地域の連携強化 <input type="checkbox"/> 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
◎	(6) 地域活動支援	<input type="checkbox"/> 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 公民館を中核としたコミュニティの活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	1-16 少年健全育成補助事業 (少年センター)	
事業概要	市内15ブロックにおける少年健全育成活動への助成を行う。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 <input type="checkbox"/> 地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	<input type="checkbox"/> 行政内の情報交換、事業面での連携 <input type="checkbox"/> 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 <input type="checkbox"/> 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	<input type="checkbox"/> 各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	<input type="checkbox"/> 保護者の学びを支援する体制の充実 <input type="checkbox"/> 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭、学校、地域の連携強化 <input type="checkbox"/> 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援	<input type="checkbox"/> 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 公民館を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 学校を中核としたコミュニティの活性化

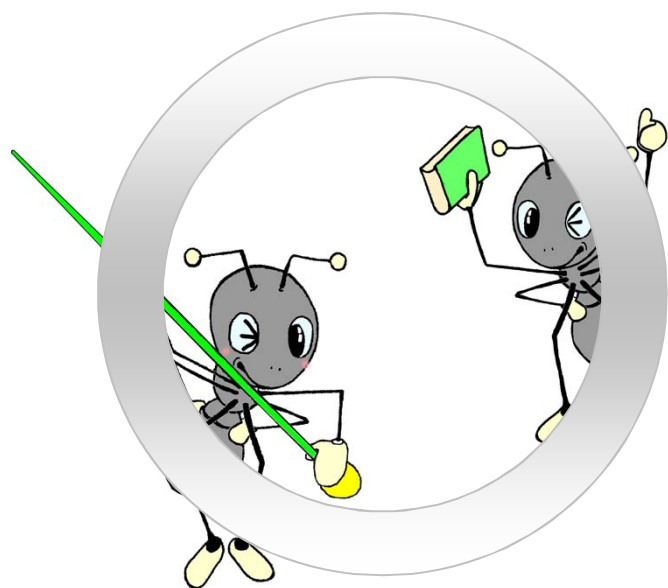




事業名		1-17 環境浄化啓発活動事業		(少年センター)
事業概要		少年の健全育成を目的として、有害環境の浄化と啓発活動を推進する。		
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	ライフステージに応じた生涯学習の充実	地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
◎	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化	◎ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	公民館を中核としたコミュニティの活性化	学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>有害環境を浄化するためにキャンペーンを行い、浄化意識を高める。</li> <li>推進会議の各団体や市内中学、高校の生徒のボランティアにより、キャンペーン活動の充実を図る。</li> </ul>		※31年4月検証	
成果指標	キャンペーン中高生ボランティア数			
実績・目標値	25年度実績 144名		30年度目標 150名	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-18 少年相談事業		(少年センター)
事業概要		少年の健やかな成長のため、少年の悩みに対する支援を行う。		
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	ライフステージに応じた生涯学習の充実	地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用		
◎	(4) 家庭教育支援	◎ 保護者の学びを支援する体制の充実	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
○	(5) 学校教育支援	○ 家庭、学校、地域の連携強化	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	公民館を中核としたコミュニティの活性化	学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校就学時から20歳未満の青少年とその保護者の悩み相談に対応していく。</li> <li>相談活動がより充実するように相談員等の研修を推進する。</li> <li>相談方法…電話、eメール、面接</li> </ul>		※31年4月検証	
成果指標	相談件数			
実績・目標値	25年度実績 1,559名		30年度目標 1,600名	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-19 いちかわ市民アカデミー講座事業		(社会教育課)	
事業概要		恵まれた学習環境の中で新しい知識を身につけ、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動で役立てていただくため、市内3大学で市民を対象とした講座を実施します。(昭和学院短期大学、千葉商科大学、和洋女子大学)			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実		
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成		
◎	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		
		◎	高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	本講座を受講することにより、新しい知識を習得するだけでなく、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動の中に活かし、地域社会づくりの構築に資するものとする。		※31年4月検証		
成果指標	講座参加率 講座参加者数(延べ) / (定員70人×10講座×3校)				
実績・目標値	25年度実績	参加率	70.2%	30年度目標	参加率74.0%
				30年度達成数	※31年4月確認



事業名		1-20 公民館主催講座活動事業 (社会教育課)	
事業概要		公民館を活用した地域の学習拠点づくりのため、健康・子育て支援・環境問題・国際化等の現代的課題や生活課題を意識した主催講座を実施するとともに、受講者が学んだ成果を活用できるよう、サークル活動や地域活動への参加を支援する。併せて、パソコン等を持ち寄って行う学習の環境を整えるため、公衆無線LAN環境の整備を進める。	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携
		○	高等教育機関・NPO・民間企業との連携
		○	育成人材とコーディネーター・各団体・事業の連携
	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援	◎	家庭・学校・地域の連携強化
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
◎	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
		◎	公民館を中核としたコミュニティの活性化
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度	30年度	
事業推進目標	学習機会の提供により、地域住民の教養の向上、生活文化の振興、健康増進、社会福祉を図る。	※31年4月検証	
成果指標	講座数		
実績・目標値	25年度実績 290講座	30年度目標 305講座	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-21 展示事業 [常設展・企画展等] (自然博物館)	
事業概要		身近な自然である「市川の自然」をメインテーマに、「市川の自然」「残された市川の自然」「湧水の自然」「都市化した市川の自然」の4つのテーマを設け、広く市民に紹介し、自然環境を市民の財産として保全する大切さと、ふるさと市川市への愛着を図る。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
			ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関・NPO・民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター・各団体・事業の連携
◎	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援		家庭・学校・地域の連携強化
		◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化



事業名		1-22 教育普及事業 [観察会・散策会等]		(自然博物館)
事業概要		おもに市民を対象にして、市内の自然資産を紹介し学習の場として活用する。対象となる市民の年代や属性に合わせたプログラムを用意して幅広い層の参加を促進する。1回あたりの平均参加者数を20人と想定した行事。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
			ライフステージに応じた生涯学習の充実	
	(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成	
			行政内の情報交換、事業面での連携	
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
			公民館を中核としたコミュニティの活性化	
			学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名		1-23 教育普及事業 [学校支援]		(自然博物館)
事業概要		自然博物館において、学校からの要請を受け、地域の自然体験や動植物に関する知識や体験を深めるため、講師を派遣するなどの支援を進める。		
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
			ライフステージに応じた生涯学習の充実	
	(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成	
			行政内の情報交換、事業面での連携	
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
◎	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
	(6) 地域活動支援	◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
			公民館を中核としたコミュニティの活性化	
			学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名		1-24 教育普及事業 [講師派遣]		(自然博物館)
事業概要		自然博物館において、市民団体や関連部署の要請を受け、地域の自然体験や動植物に関する知識や体験を深めるため、講師を派遣するなどの支援を進める。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
	(2) ネットワークの充実	◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		○	地域支援活動を目指す人材の育成	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	○	行政内の情報交換、事業面での連携	
		○	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
◎	(4) 家庭教育支援	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(5) 学校教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(6) 地域活動支援		家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
		○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
			公民館を中核としたコミュニティの活性化	
			学校を中核としたコミュニティの活性化	



事業名		1-25 教育普及事業 [夏休みイベント] (自然博物館)	
事業概要		小・中学生やその保護者を対象に、夏季休業中の学習や思い出づくりを支援する目的で、大町公園の自然資産を生かした行事を展開する。	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
			ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
	(6) 地域活動支援	○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		1-26 教育普及事業 [自然講座等] (自然博物館)	
事業概要		おもに市民を対象にして、市内の自然資産について深く読み解き理解する講座を開催する。	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
			ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
	(6) 地域活動支援		児童生徒の社会・生活体験活動の充実
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		1-27 ボランティア活動 [野草の名札付け・環境整備] (自然博物館)	
事業概要		市内有数の自然資産である「長田谷津」（大町公園自然観察園）の生態系の保全と来園者への啓発を目的に、ボランティアの参加を得て各種作業を行う。あわせて参加者に対して学芸員からより専門的な内容の解説を行い、作業の意義についての理解を深める。	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
		○	地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
	(6) 地域活動支援		児童生徒の社会・生活体験活動の充実
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	1-28 広報活動 [情報発信事業]		(自然博物館)
事業概要	学芸員が日々の活動で得た自然資産に関する情報を「自然博物館だより」として発行。また、それらの情報に加えて過去に発信した情報・展示などについてもアクセスできるようにwebサイトの整備をはかる。		
◎ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		ライフステージに応じた生涯学習の充実	
(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成	
		行政内の情報交換、事業面での連携	
		高等教育機関.NPO.民間企業との連携	
◎ (3) 自然.風土.歴史.文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
(5) 学校教育支援		家庭.学校.地域の連携強化	
		児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名	1-29 少年自然の家運営事業		(少年自然の家)
事業概要	自然に親しみ集団生活や野外活動を通じて情操や社会性を豊かにし、少年の健全な育成を図るとともに、市民の生活に潤いと活力を与える総合体験ステーションとしての役割を担う事業を行う。		
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		ライフステージに応じた生涯学習の充実	
(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成	
		行政内の情報交換、事業面での連携	
		高等教育機関.NPO.民間企業との連携	
◎ (3) 自然.風土.歴史.文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
○ (4) 家庭教育支援	○	保護者の学びを支援する体制の充実	
	○	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
◎ (5) 学校教育支援		家庭.学校.地域の連携強化	
	◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度
事業推進目標	大町レクリエーションゾーン内の宿泊施設として、豊かな自然環境を活かし、学校や自然博物館と連携するとともに他市教育委員会や団体にも広報活動を行い利用者の増加を図る。		※31年4月検証
成果指標	施設の年間利用者数		
実績・目標値	25年度実績	15,199人	30年度目標 16,500人 30年度達成数 ※31年4月確認



事業名		1-30 少年自然の家活動事業 (少年自然の家)	
事業概要		総合体験ステーションとしての施設の特徴を活かし、児童・生徒の健全育成や市民に潤いと活力を与える体験事業を行う。(大人の竹細工工房・親子お月見の会・親子宿泊体験・チャレンジャースクール・健康吹き矢・天体観望・自由研究)	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実
○	(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成
			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
○	(4) 家庭教育支援	○	保護者の学びを支援する体制の充実
		○	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		1-31 少年自然の家プラネタリウム運営事業 (少年自然の家)	
事業概要		プラネタリウムを活用し、市民や少年に天体の学習や天体について、興味を持たせ生涯学習の充実を図り、プラネタリウムコンサートを主催し潤いと活力を与える事業を行う。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実
○	(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成
			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
○	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
		◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

年度	26年度	30年度	
事業推進目標	一般見学者・児童・生徒が天体について学習し、興味を持つことができるようプログラムを更新したり、プラネタリウムコンサートを主催したり、興味の持てる事業と広報活動の工夫により見学者の増加を図る。	※31年4月検証	
成果指標	年間見学者数		
実績・目標値	25年度実績 8,204人 (PLコンサートを含む)	30年度目標 8,800人	30年度達成数 ※31年4月確認

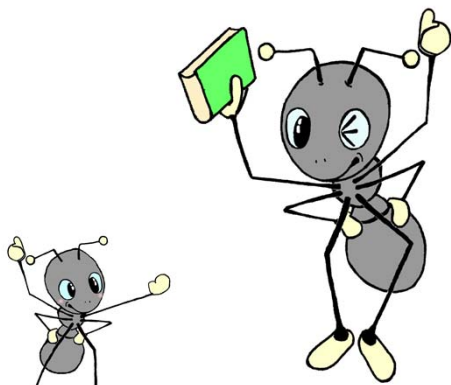




事業名		1-32 レファレンスサービス		(中央図書館)	
事業概要		市民の学習要求に応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行い、市民の生涯学習活動を支援する。また市内の大学図書館や県立図書館、国会図書館等とも連携し、市民や行政、議会の課題解決のための調査・研究に応える。			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成		
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携		
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
○	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	○	各資産の保護と学習資源としての活用		
			保護者の学びを支援する体制の充実		
	(4) 家庭教育支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
○	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
	(6) 地域活動支援		公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の学習活動の充実について、社会情勢や生活の変化に応じた市民ニーズを把握して図書館資料を収集する。</li> <li>レファレンスサービスについて、司書のレファレンス技量の向上に努め、市内外の図書館等との連携を強化し、市民の学習要求、調査研究に応える。</li> <li>レファレンスの事例について、「レファレンス記録票」を作成、職員間で情報共有し、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに事例を提供する。</li> </ul>		※31年4月検証		
成果指標	レファレンス事例集及びレファレンスツール（パスファインダー等）の発行				
実績・目標値	25年度実績 発行		30年度目標 継続発行・発展	30年度達成数 ※31年4月確認	



事業名		1-33 子どもの読書活動推進事業		(中央図書館)		
事業概要		子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような児童書を収集・研究し、ブックリストの作成や読み聞かせの会などを実施する。読書離れが著しい中高生に対しても、本を紹介しイラスト等の募集を行う等、図書館を調べ学習や情報提供の場として提供する。また教育センターや学校、子育て支援課など他部署と連携・協働し、児童サービスの拡大を図る。				
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○	ライフステージに応じた生涯学習の充実	
			地域支援活動を目指す人材の育成			
	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携		○	高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携			
			(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		○	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	○	保護者の学びを支援する体制の充実		○	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援	◎	家庭、学校、地域の連携強化		◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
(6) 地域活動支援			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化			
			公民館を中核としたコミュニティの活性化			
			学校を中核としたコミュニティの活性化			
年度	26年度		30年度			
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックリストについて、子どもや周囲の大人が本を選ぶ際の参考になるようなものを子どもの発達段階に応じて作成し、市内の小学校や図書館来館者に配布する。</li> <li>・学校図書館支援について、市内公立小中学校に対象年齢に応じたセット貸出を行うなど、教育センターや学校図書館との連携を強化する。</li> </ul>			※31年4月検証		
成果指標	ブックリスト、読み聞かせの会、福袋、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための取り組み					
実績・目標値	25年度実績 実施		30年度目標 継続実施及び拡大	30年度達成数 ※31年4月確認		



事業名		1-34 地域行政資料の収集・保存と活用		(中央図書館)
事業概要		地域の歴史や文化を後世に伝えるために、市川市及び千葉県に関する資料を、行政各部署や市民団体等と連携して、幅広く収集し、保存する。また市民の学習資源として広く活用できるように整理し、積極的な情報発信も行う。 市民の生涯学習の成果である市民の著作物については、「市民文庫」として収集する。		
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実	
○	(2) ネットワークの充実	○	地域支援活動を目指す人材の育成	
		○	行政内の情報交換、事業面での連携	
◎	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	○	高等教育機関・NPO・民間企業との連携	
		◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	○	保護者の学びを支援する体制の充実	
		○	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	○	家庭・学校・地域の連携強化	
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
年度		26年度		30年度
事業推進目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の著作物について、寄贈を呼びかけ積極的な収集を図り、図書館資料として保存する。</li> <li>地域資料の収集・整理について、地域の資料や情報を蓄積し、貴重な資料の劣化防止のため電子化を推進する。</li> </ul>		※31年4月検証
成果指標		地域行政資料の蔵書冊数		
実績・目標値		25年度実績 51,022冊	30年度目標 55,000冊	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-35 展示事業 [常設展・企画展・巡回展等]		(考古博物館)
事業概要		常設展示は、市内出土の考古資料をもとに、市川市の先土器時代から平安時代前期までの豊かな歴史を紹介する。企画展示については、常設展示の内容をより具体的に紹介し、調査研究でわかった最新の情報を紹介する事業。		
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実	
○	(2) ネットワークの充実	○	地域支援活動を目指す人材の育成	
		○	行政内の情報交換、事業面での連携	
◎	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	○	高等教育機関・NPO・民間企業との連携	
		◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	○	保護者の学びを支援する体制の充実	
		○	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	○	家庭・学校・地域の連携強化	
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
年度		26年度		30年度
事業推進目標		考古博物館の常設展示内容により調査研究でわかった最新の情報を展示し、来館者数の拡大に努める。		※31年4月検証
成果指標		来館者数		
実績・目標値		25年度実績 22,000人	30年度目標 23,000人	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-36 教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]		(考古博物館)	
事業概要		考古学教室は、考古博物館学芸員が講師となって、日ごろの研究成果を市民に講義・講習をする事業。遺跡見学会は、市内外の遺跡、関連する博物館を見学して、考古学についての知識を深める事業。講演会は、専門の研究者から平易に語ってもらい市民に高度な学習の場を提供する。			
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
			ライフステージに応じた生涯学習の充実		
◎	(2) ネットワークの充実	○	地域支援活動を目指す人材の育成		
		◎	行政内の情報交換、事業面での連携		
◎	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用		高等教育機関・NPO・民間企業との連携		
		○	育成人材とコーディネーター・各団体・事業の連携		
	(4) 家庭教育支援	◎	各資産の保護と学習資源としての活用		
			保護者の学びを支援する体制の充実		
	(5) 学校教育支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
			家庭・学校・地域の連携強化		
◎	(6) 地域活動支援		児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
		◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化		
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	考古学教室及び見学会、講演会の充実を図っていく。		※31年4月検証		
成果指標	参加者数				
実績・目標値	25年度実績 600人		30年度目標 800人	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		1-37 教育普及事業		(考古博物館)	
事業概要		[縄文体験学習及び関連研修会・ボランティア指導養成講座等]			
事業概要		縄文体験学習は、小学生向けの体験学習として、縄文人の生活体験(火おこし体験・あさり汁体験等)をしたり、国史跡の堀之内貝塚を見学しながら市川市の郷土史を学習する。ボランティア指導養成講座は、縄文体験学習指導及びイベント等に指導する養成講座の事業。			
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
			ライフステージに応じた生涯学習の充実		
◎	(2) ネットワークの充実	○	地域支援活動を目指す人材の育成		
		◎	行政内の情報交換、事業面での連携		
◎	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用		高等教育機関・NPO・民間企業との連携		
		○	育成人材とコーディネーター・各団体・事業の連携		
	(4) 家庭教育支援	◎	各資産の保護と学習資源としての活用		
			保護者の学びを支援する体制の充実		
	(5) 学校教育支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
			家庭・学校・地域の連携強化		
◎	(6) 地域活動支援		児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
		◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化		
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	縄文体験学習及びこの事業に関連する養成講座の充実を図っていく。		※31年4月検証		
成果指標	参加者数				
実績・目標値	25年度実績 1,300人		30年度目標 1,800人	30年度達成数 ※31年4月確認	



事業名		1-38 教育普及事業 [歴史カレッジ]		(考古博物館)
事業概要		市川の歴史と民俗について、2年間にわたって体系的に学び、市内の歴史や文化財への関心を高め、教養を高める事業。又関連して外部講師による歴史カレッジ公開講演を開催する。		
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
			ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		○	地域支援活動を目指す人材の育成	
		◎	行政内の情報交換、事業面での連携	
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
		○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
◎	(2) ネットワークの充実	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	歴史カレッジの講義及び講演会の充実を図っていく。		※31年4月検証	
成果指標	受講者数			
実績・目標値	25年度実績 400人		30年度目標 400人	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-39 教育普及事業		(考古博物館)
事業概要		[縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ]		
事業概要		国分地区の歴史遺産として受け継がれてきた国史跡の堀之内貝塚と、市川市の歴史情報の集積及び発信基地として考古博物館及び歴史博物館があるという地域的特性を活かしながら、地域の人々が気軽に集い、参加できる「地域まつり」を開催し、人々の絆を大切にしまちづくりをめざす事業。オータムフェスタは、家族連れを対象にした秋の行事として開催。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
			ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成	
		◎	行政内の情報交換、事業面での連携	
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
		○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
◎	(2) ネットワークの充実	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	縄文体験フェスティバル及びオータム等の充実を図っていく。		※31年4月検証	
成果指標	参加者数			
実績・目標値	25年度実績 1,500人		30年度目標 1,500人	30年度達成数 ※31年4月確認



事業名		1-40 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供]		(考古博物館)
事業概要		「広報いちかわ」「考古・歴史博物館だより」等各種広報紙への掲載。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成	
◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携	
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
		◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	行事・企画展等に向けた情報提供の充実		※31年4月検証	
成果指標	広報紙の掲載件数			
実績・目標値	25年度実績 20件		30年度目標 20件	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-41 展示事業 [常設展・企画展等]		(歴史博物館)
事業概要		常設展示は、市川ゆかりの歴史、民俗資料をもとに市川の鎌倉時代から現代までの歴史及び人々の暮らしを紹介する。企画展は、収蔵庫資料の中の未公開のものを展示又季節展示(桃の節句・端午の節句・七夕等)をする事業。		
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		○	地域支援活動を目指す人材の育成	
○	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携	
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
		◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
			公民館を中核としたコミュニティの活性化	
			学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	歴史博物館の常設展示物の見直しを多くして、来館者数の拡大に努める。		※31年4月検証	
成果指標	来館者数			
実績・目標値	25年度実績 22,000人		30年度目標 23,000人	30年度達成数 ※31年4月確認

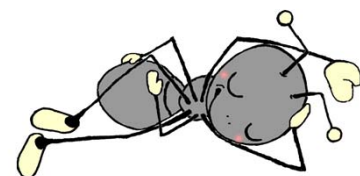
事業名		1-42 教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]		(歴史博物館)		
事業概要		歴史講座は、歴史博物館学芸員が講師となって、日ごろの研究成果を市民に講義・講習をする事業。史跡見学会は、市内外の史跡を見学して、市内を含む地域の歴史の知識を深める事業。				
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応			
			ライフステージに応じた生涯学習の充実			
		○	地域支援活動を目指す人材の育成			
	◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携		
				高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
			○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用			
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実			
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進			
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化			
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実			
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化			
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化			
			学校を中核としたコミュニティの活性化			
年度	26年度		30年度			
事業推進目標	歴史講座及び見学会の充実を図っていく。		※31年4月検証			
成果指標	参加者数					
実績・目標値	25年度実績 1,100人		30年度目標 1,100人	30年度達成数 ※31年4月確認		

事業名		1-43 教育普及事業		(歴史博物館)		
事業概要		[縄文体験学習及び関連研修会・ボランティア指導養成講座等]				
事業概要		昔の暮らし体験学習は、小学生向けの体験学習として、昭和初期の生活を体験したり、当時の生活用具を見学して、文明の発達の歴史を学習する。ボランティア指導養成講座は、体験学習指導及びイベント等に指導する養成講座の事業。				
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応			
			ライフステージに応じた生涯学習の充実			
		○	地域支援活動を目指す人材の育成			
	◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携		
				高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
			○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用			
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実			
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進			
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化			
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実			
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化			
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化			
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化			
年度	26年度		30年度			
事業推進目標	昔の暮らし体験学習及びこの事業に関連する養成講座の充実を図っていく。		※31年4月検証			
成果指標	参加者数					
実績・目標値	25年度実績 720人		30年度目標 1,000人	30年度達成数 ※31年4月確認		

事業名		1-44 教育普及事業 [歴史カレッジ] (歴史博物館)		
事業概要		市川の歴史と民俗について、2年間にわたって体系的に学び、市内の歴史や文化財への関心を高め、教養を高める事業。又関連して外部講師による歴史カレッジ公開講演を開催する。		
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
			ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		○	地域支援活動を目指す人材の育成	
	◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携
				高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用	
(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		
		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化		
		児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	歴史カレッジの講義及び講演会の充実を図っていく。		※31年4月検証	
成果指標	受講者数			
実績・目標値	25年度実績	400人	30年度目標 400人 30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		1-45 教育普及事業 [縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚・オータムフェスタ] (歴史博物館)	
事業概要		国分地区の歴史遺産として受け継がれてきた国史跡の堀之内貝塚と、市川市の歴史情報の集積及び発信基地として考古博物館及び歴史博物館があるという地域的特性を活かしながら、地域の人々が気軽に集い、参加できる「地域まつり」を開催し、人々の絆を大切にしまちづくりをめざす事業。オータムフェスタは、家族連れを対象にした秋の行事として開催。	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
			ライフステージに応じた生涯学習の充実
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成
◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実	
		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
		児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度		30年度
事業推進目標	縄文体験フェスティバル及びオータム等の充実を図っていく。		※31年4月検証
成果指標	参加者数		
実績・目標値	25年度実績	1,500人	30年度目標 1,500人 30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		1-46 広報活動事業 [行事・企画展等に向けた情報提供] (歴史博物館)	
事業概要		「広報いちかわ」「考古・歴史博物館だより」等各種広報紙への掲載。	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
			ライフステージに応じた生涯学習の充実
◎	(2) ネットワークの充実	◎	地域支援活動を目指す人材の育成
		◎	行政内の情報交換、事業面での連携
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(4) 家庭教育支援	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
			保護者の学びを支援する体制の充実
	(5) 学校教育支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
			家庭、学校、地域の連携強化
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
		○	公民館を中核としたコミュニティの活性化
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化
年度	26年度	30年度	
事業推進目標	行事・企画展等に向けた情報提供の充実	※31年4月検証	
成果指標	広報紙の掲載件数		
実績・目標値	25年度実績 20件	30年度目標 20件	30年度達成数 ※31年4月確認



## 2 教育委員会 学校教育部

事業名		2-1 学習支援推進事業【学習支援クラブ】		(指導課)
事業概要		「開かれた教育」をすすめ、家庭・学校・地域が一体となって、子どもをはぐくむために、各教科・領域・総合的な学習の時間等、日常の授業（教育課程）の中で、地域の教育力（人材・地域環境・文化・歴史等）を生かし、地域の実情に即した特色ある学習活動を進めている。		
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成	
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
◎	(5) 学校教育支援	◎	家庭、学校、地域の連携強化	
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名		2-2 校内塾・まなびくらぶ事業		(指導課)
事業概要		市立小・中学校の児童・生徒の学力向上を図るため、退職教員や大学生、地域人材などの「まなびサポーター」を活用し、算数・数学を中心とした基礎的・基本的な内容の学習機会を放課後及び長期休業中等に設ける。		
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成	
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
◎	(5) 学校教育支援	◎	家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	





### 3 総務部

事業名		3-1 男女共同参画センター講座事業		(男女共同参画課)
事業概要		ワーク・ライフ・バランスの推進、男女共同参画の意識づくりと教育の推進のため、男女共同参画に関する正しい知識や理解を深める講座や講演会等を実施する。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		○	地域支援活動を目指す人材の育成	
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携	
		○	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
		○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用	
◎	(4) 家庭教育支援	◎	保護者の学びを支援する体制の充実	
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
○	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
			公民館を中核としたコミュニティの活性化	
			学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座や講演会等への参加呼びかけなど、家庭教育学級と連携を図りながら事業を実施する。</li> <li>事業実施にあたり、男女共同参画センター使用団体など地域で活動している団体等との連携を強化する。</li> </ul>		※31年4月検証	
成果指標	家庭教育学級と連携した男女共同参画センター事業の実施回数（これ以外にもワーク・ライフ・バランスセミナー参加者数 年間延べ50人を目標とする）			
実績・目標値	25年度実績	2回	30年度目標	30年度達成数 ※31年4月確認
			2回	

事業名		3-2 人権啓発講演会事業		(男女共同参画課)
事業概要		人権尊重意識の普及・高揚のため、人権啓発講演会（ｺﾝｻｰﾄ等含む）を実施し人権啓発の向上を図る。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実	
		○	地域支援活動を目指す人材の育成	
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携	
		○	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
		○	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用	
◎	(4) 家庭教育支援	◎	保護者の学びを支援する体制の充実	
		○	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
○	(5) 学校教育支援	○	家庭、学校、地域の連携強化	
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
			公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度	
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会への参加よびかけなど家庭教育学級と連携をとりながら事業実施する。</li> <li>事業の企画、立案、実施は市人権擁護委員と市が共同で行う。</li> </ul>		※31年4月検証	
成果指標	家庭教育学級参加数			
実績・目標値	25年度実績	1回90名	30年度目標	30年度達成数 ※31年4月確認
			1回120名	

#### 4 文化スポーツ部（文化・芸術関係）

事業名		4-1 東山魁夷記念館管理運営事業		(東山魁夷記念館)	
事業概要		芸術文化に関する市民の意識の向上を図るため、東山魁夷画伯に関する作品その他資料の収集・調査研究を行うとともに、展覧会を開催し、その業績を顕彰する。また、講演会や講座、ワークショップ等を開催する。			
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
			ライフステージに応じた生涯学習の充実		
			地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化		
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常展及び特別展の開催</li> <li>・記念館コンサート及びワークショップの開催</li> <li>・市民向けの講座等の開催</li> </ul>		※31年4月検証		
成果指標	観覧者数（講座受講者、講演会聴講者、ワークショップ参加者含む）				
実績・目標値	25年度実績	24,491人	30年度目標	30,000人	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		4-2 文学ミュージアム管理運営事業		(文化振興課)	
事業概要		市川市ゆかりの文学や映像等に関する資料を収集、保存、展示し、活動の場を提供することにより、地域文化の発展と市民の生涯学習を支援する。			
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実		
		○	地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化		
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
○	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		

事業名		4-3 市川の文化人展等事業		(文化振興課)	
事業概要		芸術・文化事業の振興を図るため、市にゆかりのある文化人や芸術家の功績を顕彰し、広く紹介する「市川の文化人展」等を市民の意見を取り入れて開催する。			
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化		児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	・文化人展選定懇話会の実施 ・「市川の文化人展」等の実施		※31年4月検証		
成果指標	「市川の文化人展」等来場者数(年間・延べ)				
実績・目標値	25年度実績	2,174人	30年度目標	3,000人	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		4-4 市史編さん事業		(文化振興課)	
事業概要		刊行後、35年以上が経過した市史を改訂編さんし、市民共有の財産として将来に継承する。また、写真図録・調査報告書類の刊行、市民向けの講演会の開催をしている。			
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
◎	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化		児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化		

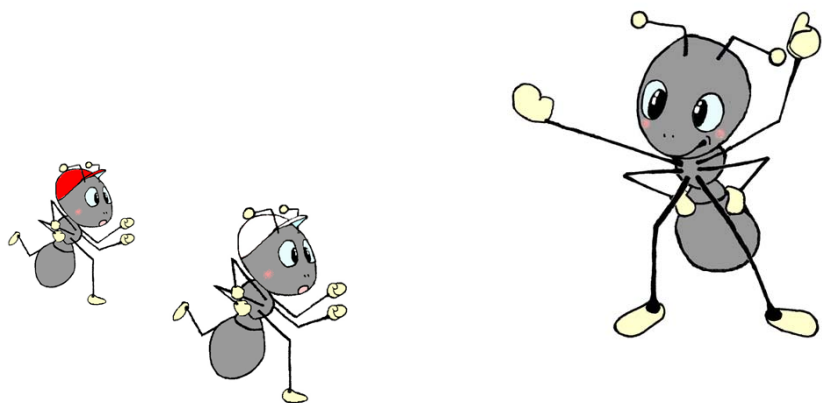
事業名	<b>4-5 街回遊展事業</b> (文化振興課)	
事業概要	市内各地域の歴史的・文化的資産(名所旧跡等)を活かしたイベントで、その地域の魅力を引き出すとともに街の活性化を図る。	
(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成
(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎ (3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	<b>4-6 芸術祭・文化祭事業</b> (文化振興課)	
事業概要	市と文化団体との共催事業として、各種展示会、音楽公演等27行事を開催している。	
(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成
(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
○ (3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	○	各資産の保護と学習資源としての活用
(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	<b>4-7 文化の街かど回遊マップ発行事業</b> (文化振興課)	
事業概要	市内の文化的資産が豊富な地域の回遊マップを発行している。市川・真間地区編、国分・国府台地区編、中山地区編、行徳・妙典地区編の4種類。	
(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成
(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
◎ (3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	◎	各資産の保護と学習資源としての活用
(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化

## 5 市民部

事業名		5-1 各種関係団体の育成・支援 [市民活動団体支援制度] (ボランティア・NPO課)	
事業概要		市民活動団体支援制度 団体要件及び事業要件を満たした市民活動団体を対象として、団体が提案する社会貢献活動(公益事業)に対し、補助金を交付し支援できる制度。 当該制度の目的は、市民活動団体の活動支援及び促進を図ることである。	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実	◎ 地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携	○ 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度	30年度	
事業推進目標	地域のことは地域で解決することで、地域活性化を図るため、市民活動団体が提案する社会貢献活動(事業)を増加させる。	※31年4月検証	
成果指標	提案事業数		
実績・目標値	25年度実績 127事業	30年度目標 130事業	30年度達成数 ※31年4月確認





事業名		5-2 情報提供事業		(ボランティア・NPO課)	
事業概要		ボランティア・NPO情報誌の発行。6月(夏季限定号、夏休み体験ボランティア号)、9月(秋号)、11月(冬号)をそれぞれ1,500部発行することにより、市民活動団体、市川市各課及びボランティア参加希望市民との情報の共有化を図り、市民活動団体の活性化及びボランティア参加者の支援をする。			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実		
◎	(2) ネットワークの充実	◎	地域支援活動を目指す人材の育成		
		◎	行政内の情報交換、事業面での連携		
	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用		高等教育機関・NPO・民間企業との連携		
	(4) 家庭教育支援	◎	育成人材とコーディネーター・各団体・事業の連携		
◎	(5) 学校教育支援		各資産の保護と学習資源としての活用		
			保護者の学びを支援する体制の充実		
	(6) 地域活動支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
			家庭・学校・地域の連携強化		
		◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度		26年度		30年度	
事業推進目標	ボランティア情報誌を定期的に発行することで、行政機関及び市民活動団体のボランティア需要を市民等へ提供し、市民等のボランティア要望に応えることができる。		※31年4月検証		
成果指標	発行回数				
実績・目標値	25年度実績 年4回		30年度目標 年4回	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		5-3 各種関係団体の育成・支援		(ボランティア・NPO課)	
事業概要		[ボランティア・NPO活動センター] 八幡地区・行徳地区2ヶ所に設置している「ボランティア・NPO活動センター」の運営・管理事業。市民活動団体の活動支援の場、情報交流の場として、平成13年4月にボランティア・NPO活動センター(八幡)を開設し、平成17年にボランティア・NPO活動センター(行徳)を開設した。			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実		
◎	(2) ネットワークの充実	◎	地域支援活動を目指す人材の育成		
		◎	行政内の情報交換、事業面での連携		
	(3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用		高等教育機関・NPO・民間企業との連携		
	(4) 家庭教育支援	◎	育成人材とコーディネーター・各団体・事業の連携		
	(5) 学校教育支援		各資産の保護と学習資源としての活用		
			保護者の学びを支援する体制の充実		
	(6) 地域活動支援		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
			家庭・学校・地域の連携強化		
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度		26年度		30年度	
事業推進目標	市民活動団体関連の情報提供、ミーティングスペース及び印刷機等を設置し、センターを利用する市民活動団体等の人数増加を図る。		※31年4月検証		
成果指標	利用人数				
実績・目標値	25年度実績 5,958人		30年度目標 6,000人	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		5-4 各種関係団体の育成・支援 [研修会、講習会等開催]		(ボランティア・NPO課)	
事業概要		総合学習支援 市民活動団体の自立及び自律を支援するために、研修会や講習会を開催し、市民活動団体運営の円滑化及び人材の育成等を図る。			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成		
◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携		高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		◎	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化		児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度		26年度		30年度	
事業推進目標	市民活動団体が活性化するためには、活動する人材のスキルアップが重要であることから、講座を開催し、多くの市民活動団体の参加を促す。			※31年4月検証	
成果指標	講座参加団体数				
実績・目標値	25年度実績 18団体		30年度目標 20団体	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		5-5 ボランティア活動等啓発事業 [夏休み体験ボランティア]		(ボランティア・NPO課)	
事業概要		夏休み体験ボランティア 平成13年度から事業が開始され、特に小学生、中学生、高校生、大学生が夏季休業となる期間に、ボランティアを体験することにより、市及び市民活動団体の仕事をボランティアをすることで社会的役割を学んでいくことを目的としている。			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携		高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援	○	家庭、学校、地域の連携強化	◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
			社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		公民館を中核としたコミュニティの活性化
	(6) 地域活動支援		学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度		26年度		30年度	
事業推進目標	教育機関の多くが休業している夏季休暇期間に、行政機関及び市民活動団体で多くの学生等がボランティアすることで、ボランティアの役割や重要性を学ぶことができる。			※31年4月検証	
成果指標	参加人数				
実績・目標値	25年度実績 1,127人		30年度目標 1,500人	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名	5-6 ボランティア・NPO活動の拡充 [地域ポイント制度]		(ボランティア・NPO課)
事業概要	地域ポイント制度の運営事業 市民のボランティア活動等の関心を高め、市民活動団体に活動の支援及び促進を図り、市民、市民活動団体及び市との協働を推進することで、エコロジーとボランティア活動の助長を図る。		
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成	
○	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携 ○ 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 ○ 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名	5-7 ボランティア・NPO活動の拡充 [協働事業提案制度]		(ボランティア・NPO課)
事業概要	協働事業提案制度運営 市民等が地域の身近な課題を解決するために、事業を企画提案し、市と協働で事業を実施していく制度。自らの地域は、市民自らが創っていくという市民主体の地域づくりを推進し、市民活動の促進、活性化を図っていく。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ◎ ライフステージに応じた生涯学習の充実 ◎ 地域支援活動を目指す人材の育成	
◎	(2) ネットワークの充実	◎ 行政内の情報交換、事業面での連携 ◎ 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 ◎ 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度
事業推進目標	地域の課題は地域で解決することを前提として、その解決策となる事業提案をすることで、市民等による地域活性化を促進し、行政もそのノウハウを一緒になって構築していく。		※31年4月検証
成果指標	協働事業提案実施件数		
実績・目標値	25年度実績 6件	30年度目標 7件	30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		5-8 消費生活センター相談及び啓発事業		(総合市民相談課)	
事業概要		消費者意識の向上を図り消費者被害を未然に防止するための講座や啓発情報を提供する。			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成		
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度		26年度		30年度	
事業推進目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消費生活講座」の開催 年7回</li> <li>・「出前消費者講座」の開催 年20回</li> <li>・くらしの情報誌「クオリティライフいちかわ」の発行(年4回 各3,000部)</li> </ul>		※31年4月検証	
成果指標		講座の開催回数			
実績・目標値		25年度実績	24回	30年度目標	30年度達成数 ※31年4月確認
				27回	

## 6 福祉部

事業名		6-1 高齢者健康相談		(地域支えあい課)	
事業概要		いきいきセンターにおいて、市内在住の60歳以上の方を対象に、看護師が血圧測定や健康に関する相談を実施することにより、健康づくりを推進し、高齢者の生涯学習の充実を図るとともに生きがいづくり・仲間づくりを支援する。			
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成		
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
○	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化		



事業名	<b>6-2 高齢者クラブ補助金</b> (地域支えあい課)	
事業概要	会員相互の親睦と健康づくりに努めながら、社会奉仕、教養活動、レクリエーションなどに取り組む、地域を基盤とした高齢者の自主的な活動組織である高齢者クラブに対し、補助金を交付する。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	<b>6-3 シルバー人材センター事業</b> (地域支えあい課)	
事業概要	高齢者の社会参加と生きがい対策の充実を図るため、健康で働く意欲のある高齢者に知識・経験・技能を活かした働く場を提供しているシルバー人材センターに対して支援を行う。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	<b>6-4 シニアカレッジ教養講座</b> (地域支えあい課)	
事業概要	いきいきセンターにおいて、市内在住の60歳以上で初心者を対象に、太極拳・絵手紙・習字・ダンスなど多彩な講座を開催し、生きがいづくりを支援する。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援	<input type="checkbox"/> 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 公民館を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 学校を中核としたコミュニティの活性化



事業名	6-5 いきいきセンター管理運営事業 (地域支えあい課)	
事業概要	地域の高齢者に対して健康の増進、教養の向上・或いはレクリエーションによる仲間づくりや生きがいづくりの場を提供するための施設であるいきいきセンターの管理運営事業。【市内 13施設】	
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
	地域支援活動を目指す人材の育成	
(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	
	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実	
	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化	
	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
	学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名	6-6 いきいきセンターまつり (地域支えあい課)	
事業概要	いきいきセンター利用者が、毎年10月に文化会館大ホール、展示室にて2日間にわたり、日頃の成果を披露し合い、相互の交流を図る発表会。	
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
	地域支援活動を目指す人材の育成	
(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	
	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実	
	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化	
	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
	学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名	6-7 高齢者グラウンド・ゴルフ大会 (地域支えあい課)	
事業概要	高齢者の生きがいづくりや健康の保持及び高齢者相互の交流を図ることを目的としたグラウンド・ゴルフ大会。	
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
	地域支援活動を目指す人材の育成	
(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	
	高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実	
	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化	
	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
	学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名	6-8 市民ゲートボール大会 (地域支えあい課)	
事業概要	ゲートボール愛好者の生きがいづくりや健康の保持及び参加者相互の交流を図ることを目的としたゲートボール大会。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
	(2) ネットワークの充実	地域支援活動を目指す人材の育成
		行政内の情報交換、事業面での連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
(4) 家庭教育支援	各資産の保護と学習資源としての活用	
	保護者の学びを支援する体制の充実	
(5) 学校教育支援	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	家庭、学校、地域の連携強化	
(6) 地域活動支援	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	6-9 長寿ふれあいフェスティバルinいちかわ (地域支えあい課)	
事業概要	高齢者クラブを中心した、高齢者相互の交流を促すことを目的とした唄や踊りの発表会。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
	(2) ネットワークの充実	地域支援活動を目指す人材の育成
		行政内の情報交換、事業面での連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
(4) 家庭教育支援	各資産の保護と学習資源としての活用	
	保護者の学びを支援する体制の充実	
(5) 学校教育支援	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	家庭、学校、地域の連携強化	
(6) 地域活動支援	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	6-10 明青展 (地域支えあい課)	
事業概要	60歳以上の方々による、絵画、書、工芸、手芸、写真の作品展。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
	(2) ネットワークの充実	地域支援活動を目指す人材の育成
		行政内の情報交換、事業面での連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
(4) 家庭教育支援	各資産の保護と学習資源としての活用	
	保護者の学びを支援する体制の充実	
(5) 学校教育支援	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	家庭、学校、地域の連携強化	
(6) 地域活動支援	児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	
	公民館を中核としたコミュニティの活性化	
		学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	6-11 いきいき健康教室 (地域支えあい課)	
事業概要	65歳以上の市民を対象に、転倒防止のための体操、筋力トレーニング、レクリエーション等を行うことにより、心身機能の維持・増進を図り、自立期間を延ばし、要介護高齢者にならないようにすることを目的に実施する。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 <input type="checkbox"/> 地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実	<input type="checkbox"/> 行政内の情報交換、事業面での連携 <input type="checkbox"/> 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 <input type="checkbox"/> 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	<input type="checkbox"/> 各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	<input type="checkbox"/> 保護者の学びを支援する体制の充実 <input type="checkbox"/> 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援	<input type="checkbox"/> 家庭、学校、地域の連携強化 <input type="checkbox"/> 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援	<input type="checkbox"/> 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 公民館を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 学校を中核としたコミュニティの活性化

## 7 こども政策部

事業名	7-1 すこやか応援隊事業 (子育て支援課)	
事業概要	すこやかな親子の育ちを目的とし、すこやか応援隊（保育士・栄養士）が市内の様々な地域へ訪問・出張して、親子の交流、体験、学び等を目的とした「すこやかひろば」の開催や子育て相談の実施。また、各団体と連携しての子育てイベント開催を通じ地域に根ざした子育て支援を行う。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 <input type="checkbox"/> 地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実	<input type="checkbox"/> 行政内の情報交換、事業面での連携 <input type="checkbox"/> 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 <input type="checkbox"/> 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	<input type="checkbox"/> 各資産の保護と学習資源としての活用
○	(4) 家庭教育支援	<input type="checkbox"/> 保護者の学びを支援する体制の充実 <input type="checkbox"/> 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援	<input type="checkbox"/> 家庭、学校、地域の連携強化 <input type="checkbox"/> 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援	<input type="checkbox"/> 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 公民館を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	7-2 こども館運営事業 (子育て支援課)	
事業概要	遊びをとおして児童の健康増進と情操を豊かにする各種事業を実施する。(親子活動の推進、子育てに関する相談事業の充実、中学生・高校生と乳幼児親子のふれあい交流の実施、放課後児童健全育成の推進等)	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	<input type="checkbox"/> 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた生涯学習の充実 <input type="checkbox"/> 地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実	<input type="checkbox"/> 行政内の情報交換、事業面での連携 <input type="checkbox"/> 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 <input type="checkbox"/> 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	<input type="checkbox"/> 各資産の保護と学習資源としての活用
◎	(4) 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の学びを支援する体制の充実 <input type="checkbox"/> 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援	<input type="checkbox"/> 家庭、学校、地域の連携強化 <input type="checkbox"/> 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援	<input type="checkbox"/> 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 公民館を中核としたコミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		7-3 こども発達相談室事業 (発達支援課)	
事業概要		こどもの発達に関する様々な相談に応じ、こども及び保護者への療育支援を行う。また、発達に課題のある子どもの支援のあり方について、行政や市川市内の関係機関に対して提言し連携を図る。研修などを通して、発達の障害について理解を普及していく。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	ライフステージに応じた生涯学習の充実
		地域支援活動を目指す人材の育成	
◎	(2) ネットワークの充実	◎ 行政内の情報交換、事業面での連携	○ 高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		○ 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
○	(4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	○ 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援	◎ 家庭、学校、地域の連携強化	○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	公民館を中核としたコミュニティの活性化
		学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度
事業推進目標	市川市内の療育待機児童がでないように、行政の教育・保健・福祉関係機関とこども発達支援会議を実施していく。療育希望者が支援を受けられるように、市川市内の療育施設を増やす計画を進めていく。また、支援内容の充実のため、研修等で支援者（保育士・教諭・民間事業者等）のスキルアップを目指す。		※31年4月検証
成果指標	市川市内の利用人数		
実績・目標値	25年度実績	8,694人	30年度目標 9,836人 30年度達成数 ※31年4月確認

事業名		7-4 中高年保育ボランティア (こども施設運営課)	
事業概要		市民が持っている 特技や人生経験を生かし、保育園児と中高年の方が、読み聞かせやあそび、生活の仕方、特技を見せたり伝えたりしながら交流する中で、喜びや生きがいを味わう。	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	ライフステージに応じた生涯学習の充実
		地域支援活動を目指す人材の育成	
	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携	高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実	保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援	◎ 家庭、学校、地域の連携強化	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	公民館を中核としたコミュニティの活性化
		学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度
事業推進目標	加速する少子高齢化・核家族化の中で市民の体験や学びの成果を園児に返すことで保育園・家庭・地域の連携強化を図る。		※31年4月検証
成果指標	ボランティアの年間延べ派遣回数		
実績・目標値	25年度実績	2,300回	30年度目標 3,000回 30年度達成数 ※31年4月確認



## 8 文化スポーツ部（スポーツ関係）

事業名		8-1 スポーツ指導者育成事業		(スポーツ課)	
事業概要		指導者の養成・確保と総合型地域スポーツクラブ指導者の育成、スポーツ推進委員の資質と指導力の向上を図り、市川市のスポーツ振興と競技力向上及び生涯スポーツ社会の実現を目標として、市川市公認スポーツ指導者養成講習会を開催する。 【関連法令】スポーツ基本法第11条			
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実		
		◎	地域支援活動を目指す人材の育成		
	○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携	
				高等教育機関、NPO、民間企業との連携	
				育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
○	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化		
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
			学校を中核としたコミュニティの活性化		
年度	26年度		30年度		
事業推進目標	市民スポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上を図り、指導活動の促進と指導体制を確立する。		※31年4月検証		
成果指標	認定者数				
実績・目標値	20年度から25年度の累計224人		30年度目標 累計500人	30年度達成数 ※31年4月確認	

事業名		8-2 スポーツ推進委員活動事業		(スポーツ課)	
事業概要		スポーツ推進のため事業への連絡調整及び市民に対しスポーツ実技の指導、その他地域スポーツ活動の推進、軽スポーツ活動等の運営・指導を行う。 【関連法令】スポーツ基本法第32条第2項 市川市スポーツ推進委員に関する規則			
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応		
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実		
		○	地域支援活動を目指す人材の育成		
◎	(2) ネットワークの充実	◎	行政内の情報交換、事業面での連携		
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携		
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携		
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用		
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実		
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進		
○	(5) 学校教育支援	○	家庭、学校、地域の連携強化		
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実		
○	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化		
			公民館を中核としたコミュニティの活性化		
		○	学校を中核としたコミュニティの活性化		



事業名		8-3 市民スポーツ振興事業 (スポーツ課)	
事業概要		市民が各種スポーツや軽スポーツ、レクリエーションの体験を通じて健康保持、増進意欲及び活動意識の高揚を図ることで、スポーツ実施率の向上を目的とする。 【関連法令】スポーツ基本法第32条 市川市スポーツ振興基本計画	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実
	(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成
			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
			各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
◎	(6) 地域活動支援	◎	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		8-4 健康スポーツ教室事業 (スポーツ課)	
事業概要		市民の健康づくりやスポーツに親しむ機会を提供するため塩浜・信篤市民体育館、市民プールにおいて利用者のニーズを取り入れながら、各種健康スポーツを実施する。 【関連法令】スポーツ基本法第22条 市川市健康スポーツ教室実施要綱	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
	(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成
			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
			各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

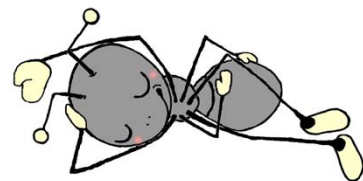
事業名		8-5 スポーツ推進団体補助金 (スポーツ課)	
事業概要		少年野球・女子フットベースボールを通じて青少年団体の育成及び、健全育成を図る団体を支援することでスポーツの推進を図る。 【関連法令】市川市少年野球連盟・女子フットベースボール連盟活動費補助金交付要綱	
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
			ライフステージに応じた生涯学習の充実
	(2) ネットワークの充実		地域支援活動を目指す人材の育成
			行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
			各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
		◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		8-6 スポーツ推進負担金 (スポーツ課)	
事業概要		スポーツ振興基本計画の基本目標の一つである、スポーツ機会の創出を行うため各種イベント及びスポーツ教室を公益団体との共催事業として開催するもの。 【関連法令】スポーツ基本法 スポーツ振興基本計画	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		◎	ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実	○	行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
			児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援	○	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		8-7 体育協会補助金 (スポーツ課)	
事業概要		本市におけるスポーツ団体を統轄し、これを代表する団体として県民体育大会・市民体育大会などを通じて競技力の向上や市民のスポーツ振興を図ることを目的とするもの。	
○	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり		学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
◎	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
		◎	育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
		○	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名		8-8 スポーツ大会等派遣参加費用補助金 (スポーツ課)	
事業概要		スポーツの振興を目的に市民等(在勤・在学含)で結成され、市内に事務所を有するスポーツ団体の団員が関東大会、全国大会に出場する費用の一部を助成することで、競技力の向上およびスポーツ振興の推進を図る。また同団体が児童・生徒の国際交流を目的とした大会等に派遣する場合も費用の一部を補助する。 【関連法令】市川市スポーツ大会派遣参加費用補助金交付要綱 市川市青少年国際交流スポーツ大会等参加費用補助金交付要綱	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
		○	ライフステージに応じた生涯学習の充実
			地域支援活動を目指す人材の育成
	(2) ネットワークの充実		行政内の情報交換、事業面での連携
			高等教育機関、NPO、民間企業との連携
			育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用		各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援		保護者の学びを支援する体制の充実
			保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
◎	(5) 学校教育支援		家庭、学校、地域の連携強化
		◎	児童生徒の社会・生活体験活動の充実
	(6) 地域活動支援		社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
			公民館を中核としたコミュニティの活性化
			学校を中核としたコミュニティの活性化

事業名	8-9 総合型地域スポーツクラブ事業 (スポーツ課)	
事業概要	文部科学省から総合型地域クラブを育成の指針があり、健康都市宣言等を鑑み「市川スポーツガーデン国府台」「市川スポーツガーデン塩浜」を設立し、地域に根付くスポーツクラブとして拡充を図る。また、市民へのクラブの周知及びスポーツ機会の創出を図ることを目的に市共催によるスポーツイベントを開催している。 【関連法令】スポーツ基本法第4条 スポーツ基本計画 市川市スポーツ振興基本計画	
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ○ ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成
○	(2) ネットワークの充実	○ 行政内の情報交換、事業面での連携 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 ○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実
○	(6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化



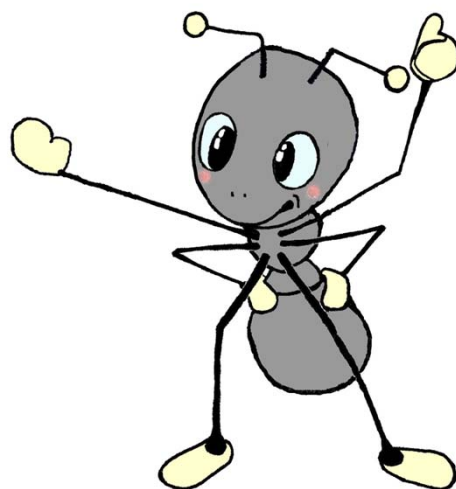
■第四次生涯学習推進計画策定検討委員会  
委員名簿

所属名	氏名
企画課	渡辺 孝文
地域防災課	坂本 昭夫
男女共同参画課	須志原 みゆき
文化振興課	近藤 勝
ボランティア・NPO課	大寺 龍彦
消費生活センター	松坂 英子
高齢者支援課	堀 和晴
子育て支援課	杉山 映美
スポーツ課	小島 信也
まち並み景観整備課	奥村 洋介
教育政策課	中俣 智文
指導課	小谷野 信
青少年育成課	望戸 強
社会教育課	藪崎 英敏
自然学習課	松川 由次
中央図書館	松川 優子
考古・歴史博物館	笠川 賢司

■第四次生涯学習推進計画 事務局名簿

所属名	氏名
生涯学習部長	萩原 洋
生涯学習部次長	千葉 貴一
生涯学習振興課長	牛尾 進一
生涯学習振興課	高梨 治夫
生涯学習振興課	室岡 稔
生涯学習振興課	藤原 桃

※ 委員名簿、事務局名簿の所属名は、第四次  
推進計画策定検討委員会開催時の平成26  
年度の所属名です。



第四次 市川市生涯学習推進計画

平成 27 年 4 月 発行

企画・編集 市川市教育委員会  
生涯学習部 教育総務課

発行 市川市教育委員会

〒272 - 0023

市川市南八幡1丁目17番15号

Tel 047-383-9224 (直通)

<http://www.city.ichikawa.lg.jp>